

師範學校
編輯
萬國史畧

福岡第一師範學校
(學校圖書)

登錄 番號	第	號
社會科部		
教育部		
教授法	類	歷史
目		次
全	2	冊ノ内第 2 冊
分類 番號	第	號
372.2		

T1 A1
24
Sh 31

師範學校編輯 萬國

萬國史畧卷三

明治廿年七月 文部省刊行

萬國史畧卷之二

歐羅巴洲下

人民ノ移轉

紀元四百年代羅馬帝國ノ衰頹セル頃ニ當リ歐
羅巴洲ノ大動亂ノリテ全洲ノ居民互ニ其佳人
ヲ驅逐シテ他國ニ轉移ス是ヲ歐羅巴洲民ノ大
移轉ト名ヅケ現今各國人種ノ區別略此時ニ定
マル者トス蓋シ是ヨリ先ニ亞細亞洲ノ内地ニ
匈奴ト名ヅクル野民アリ帳幕ヲ以テ家トシ沙漠
ノ中ニ半羊ヲ遊牧ス國ヨリ住処ヲ定メザル民

種ナレバ、常ニ水草ヲ逐ヒテ、轉居シ、或ハ隣國ヲ
侵掠シ、久シク漢土ニ屯寇セシトアリシガ、紀元
三百七十一年ノ頃、仁德天皇終ニ大ニ破ラレ、顛轉シ
テ、西北ニ移リ、漸ク歐羅巴洲ノ東部ニ侵ハシテ、
土人ヲ逐ヒ攘ヘリ、其頃、歐羅巴洲ノ土人、久ク各
地ニ部落ヲ爲ヒシ者、之ヲ防グ不能ハズ、遂ニ其
部衆ヲ率テ、更ニ隣境ニ侵ハシテ、又其土人ヲ逐
ヒ攘ヘリ、此ノ如ク、互ニ相驅逐シテ、次第ニ隣國
ヨリ、隣國ヘ及ボシ、終ニ羅馬ノ封内ヘ侵ハス、西
羅馬ノ版圖ハ、今ク此等ノ野民ノ爲メ、瓦解セシ

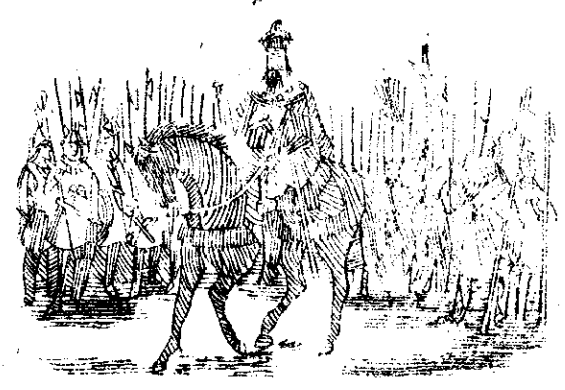
メラル、其人種中、ゲルマン、ノラマン、ゴット、
スラヴ、ウィンダルス、等ノ如ク、皆此時ニ在
テ、英佛、獨逸、西班牙、以太利等ノ諸國ニ移リ住セ
リ、故ニ今ノ西洋各國ハ、皆此居民ノ大移轉ニ因
リ、羅馬帝國ノ分裂セシ後、建國セル者トス、

佛蘭西

此國歐羅巴ノ西ニ在リ、往古ノ土人ヲゴウルト
名ヅケ、羅馬ノ大將ヒサル、始メテ之ヲ征服シ、後數
百年ヲ歷テ、羅馬ノ勢衰ヘ、居民大移轉ノ時、フ
ランスト名ツクル人種此國內ニ移住シ、土人ヲ

征シ、羅馬ノ屯兵ヲ逐ヒ、遂ニ邦土ヲ分領セリ、其
 酋長メロヴーノ孫、クロヴィスナル者、紀元、五百年
 頃、武烈、自、天、全國ヲ平定シテ、王位ニ即キ、耶蘇教
 ヲ信奉ス、是ヲ佛蘭西ノ始王トス、爾後、世々ノ國
 王、多クハ、酒色ニ溺レテ、政事ヲ治メズ、内臣漸ク政
 權ヲ專ニスルニ至リ、チャールス、マルトルナル者、
 威力最モ全國ニ震ヒ、次デ、スピン、ルブレフニ至リ、
 終ニ王位ノ禪ヲ受ク、其子シャーレマン、嗣テ位ニ
 昇リ、英邁大度ニシテ、威力内外ニ振ヒ、精銳ノ兵
 馬ヲ帥中テ、諸國ヲ征討シ、獨逸、以太利、瑞西、和蘭

帝シマロトシ



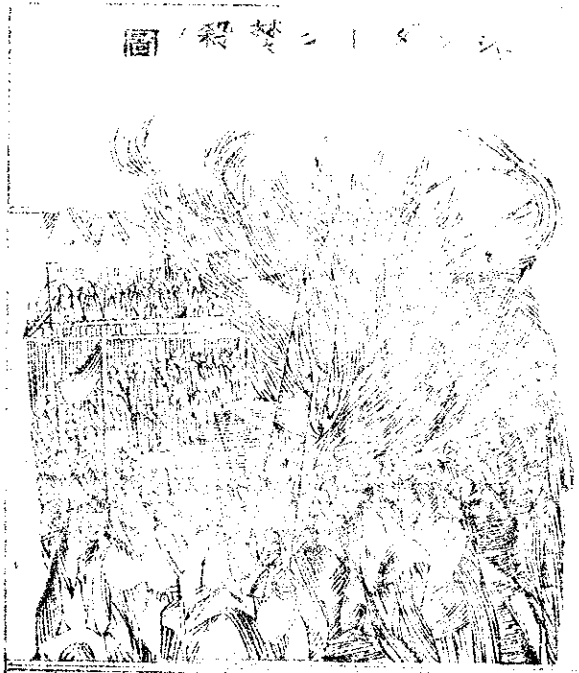
以、平時ヨリ、西班牙ノ北部等
 ヲ合セテ、盡ク之ヲ領地トシ、
 且羅馬法モノ加冠ニ因テ、終
 ニ帝位ニ昇レリ、是、紀元、八百
 年、相武、大、皇、延ニシテ、實ニ羅馬
 國以後、此ノ如キ大國ヲ爲
 ス者アラズ、之ニ加フルニ、學
 校ヲ起シ、法度ヲ定メ、殊ニ教化ヲ厚クセリ、其功
 業ノ大ナルガ故ニ、更ニ大帝ト尊稱ス、其歿スル
 ニ及ビ、太子ルイ、位ヲ嗣ギシガ、亦肖ニシテ、大國

ヲ統御スルノオナク遂ニ領地ヲ分ツテ三子ヲ
封ス、即佛蘭西、以太利、獨逸ナリ、皆封建ノ制ヲ用
中國内ヲ大小ノ諸侯ニ區分セリ、
此時佛國ニ王タル者ヲチャールス二世ト名ツク、
然ルニ獨逸、以太利トハ、元來兄弟ノ國タル所、
此、互ニ不和ヲ生ジ、數年間、屢戦争ヲ起セリ、且、此
頃ノルマント稱マル海賊、此國ニ來リ寇セシガ
之ト戦ヒ、屢敗北シ、終ニ西岸ノ地ヲ割キ、之ヲ與
ヘテ、和睦ヲ爲スニ至レリ、後世ノルマンノチート
稱スル地、是ナリ、此ノルマンハ、歐羅巴ノ北部

威ノ人民ニシテ、此頃、英國人ト共ニ、海賊ヲ事ト
シ、勢甚強猛ニシテ、諸國之ニ敵スルト能ハズ、英
國ノ如キモ、亦英國人ノ爲ニ、征畧セラレシトア
リ、時ニ佛國ノ勢、次第ニ衰ヘ、國內ノ諸侯、皆政府
ノ命ニ從ハズ、ヒューグ、カペット侯タル者終ニ王ニ
過リ、彈ヲ受ケテ、位ニ昇ル、是紀元、九百八十七年
ニ在リ、爾後、國勢ヲ挽回シ、都ヲパリスニ定ム、後
紀元、十三百二十八年ニ至リ、チャールス四世王ノ
歿スルニ及ビ、近キ血統絶ユルニ因リ、ヴァロイス
侯ノムフ六世、其從弟タルヲ以テ、ハツテ位ヲ繼

ゲリ、然ルニ英國ノ王エドワード三世佛王ノ親
 戚タルガ故ニ、宜シク其國ニ王タルハシトノ論
 マ發シ、大軍ヲ舉ゲテ佛國ニ侵ハス、是ヨリ兩國
 九十餘年間ノ戦争ト爲リ、此頃、英國ノ勢盛ニ
 シテ、佛軍之ニ敵シ難ク、多年ノ間、數度ノ戦争ニ
 敗リシ、領地次第ニ奪ハレ、テ、王ノ如キ大
 敗北シテ、遂ニ擒ニセラレ、國內頗ル混亂ニ
 其後、數世ノ間、英國ト威ハ和シ、或ハ戦シ、國內
 ニモ亦騷亂屢起リテ、國力大ニ疲弊セリ、紀元千
 四百二十二年、チャールス七世ニ至リ、又大ニ英國

ノ兵ヲ散リ、數回敗軍ニテ、全國大抵敵ニ没入シ、
 國王ハ唯オウルレ、城ヲ保ツ、雖用英兵ノ國嚴
 シク國ノ存亡且タニ逼リ、然ルニ此時、ジャンダ



リクト名ツクル一
 女子アリ、民間ニ起
 テ、義兵ヲ舉ゲ、オ
 レ、アンノ國ヲ解ヤ
 國王ノ難ヲ救ヒシ
 カハ、國內兵ヲ起シ
 之一應ズル者多ク、

圖ノ殺楚ニ一タシ

皆決死シテ英兵ト戦ヒ、數度ノ勝利ヲ得テ、漸ク
一七地ヲ回復セシガ、後、英人ジャンターヲ擒ニ
シテ之ヲ焚殺セリ然レテ、英軍終ニ利ナクシテ
國ニ退キ、以後、兩國ノ戦争始メテ息ミ、漸ク平穩
一至レリ

其後、數世ノ間、地利ト戦争シ、又衆諸侯ノ地ヲ
合併シ、國力漸ク強盛ニ起キ、政府ノ威令國內ニ
行ハレ、後、フランス一世ニ至リ、豪猛ニシテ、兵
ヲ好ミ、紀元一千五百十九年ノ頃ヨリ西班牙王ト
不和ニ成リ、終ニ數度ノ劇戦アリ、此時、西班牙王

ハ獨逸帝ノ位ヲ獲テ、ナールス五世ト號シ、兩國
ノ兵カヲ統ベ、其勢甚々盛ニシテ、佛軍屢敗北シ、
フランス一世一度擒トナルニ至リシガ、國ニ
歸ル、後、再び兵ヲ起シ、終身戦闘ニ從事セリ、此
頃、獨逸ニ於テ、教法改革ノ争乱起リ、次テ佛國ニ
及ボシ、國內頗ル動搖セリ、此争乱ノ起原ハ、從來
羅馬教固陋ニシテ、弊害多キガ故ニ、ルドルフ
ヘルツォグ、出デ、新教ト名ヅクル一派ヲ立テ、人
民ノ之ニ歸依スル者多カリシガ、政府ヨリ、邪教
ナリトシテ、之ヲ禁シ、或ハ、其教徒ヲ刑ニ處セ

ヨリ漸々大争乱ヲ生ゼルナリ、佛國一ツモ此教
 法ヲ嚴禁セシニ因テ、國內ノ動搖少カラス、其後
 國王ノ系統絶エ、ブルボ侯ヲ迎ヘ、位ニ即カシ
 ム、之ヲヘスリ四世トス、潤連明敏ニシテ、善ク府
 安ヲ得タリ、ルイ十三世、幼ニシテ位ヲ嗣ギ、政ヲ
 執ルコト能ハズ、宰相リセリ、一、政務ヲ總理シ、賢明
 ニシテ、能ク國ヲ富マシ、民ヲ安シセリ
 紀元千六百四十三年、明正德十六年、西曆十四世位
 ヲ継グ、時ニ佛國ノ勢最モ隆盛ヲ極メ、國力富强
 ニシテ、文華甚タ盛ナリ、殊ニ國王ハ、華美ヲ好ミ

宮殿ヲ營ミ、パリス城ノ如キ、歐羅巴第一ノ都ト

爲レ、明是ヨリ、國王、益奢侈ヲ極メ、漸ク傲慢ヲ生

世四十一ル



シ、封地ヲ廣メントシテ、頻ニ兵
 ヲ起シ、隣國ヲ併吞スルニ因リ、
 各國皆其驕恣ナルヲ嫉ミ、獨逸

英吉利、和蘭、西班牙等カヲ合セ

テ、之ニ抗敵シ、數年間、戦争息マズ、之ガ爲メ、毎ニ
 巨萬ノ財ヲ費ヤシ、且苛政ヲ行ヒ、庶民ヲ虐ゲ、内
 ハ奢侈ヲ盡クシ、外ハ兵革ニ從事セシカバ、晩年
 ニ及ビ、國力大ニ疲弊シ、稍衰微ノ徵ヲ顯ハス

至レリ紀元七百十五年其歿スルノ後ルイ十五
世ヨリルイ十六世ノ代ニ至リ次第ニ衰ヘ終ニ
古來未曾有ノ大爭亂ヲ起セリ、

ルイ十六世ハ仁惠ノ君ナレバ此國古來ノ弊風
ニ因テ貴族ト僧官ノミ威權ヲ擅ニシ門地アル
者ハ坐食シ奢ヲ極メ常ニ賦税ヲ重クシ庶民
ヲ虐ゲシカハ國民皆政府ヲ怨ム一深ク將ニ大
騷亂ヲ起サントスルノ兆已ニ顯ハレタリ是
於テ紀元千七百八十九年大集會ヲ開キ國內ノ
貴族及ビ國民ノ名代人ヲ諸州ヨリ呼出シ集議

シテ此流弊ヲ改メントセシニ其論遂ニ一致セ
ズ其間種々ノ徒黨起リ互ニ相爭ノテ動搖已マ
ズ紀元千七百九十一年光格天皇
寬政三年終ニ大騷亂ト
爲リロベスピエールナル者過激黨ノ巨魁ニシ
テ最モ殘忍暴戾ヲ極メ國王及ヒ王妃ヲ獄ニ繫
ギテ之ヲ弑シ貴族ハ捕ヘテ盡ク首ヲ刎ネ凡ソ
平民ヲ苦メシ者ハ殺シ盡クシテ殘スナシ此
激徒終ニ政事ノ全權ヲ握リ國體ヲ變ジテ合衆
政治ト爲スト雖モ徒黨幾個ニモ分レ異黨ノ者
互ニ相殺シロベスピエールノ黨ノ如キモ亦盡

シ殲滅セラレ彼ノ華美ヲ極メタルハリスノ都
城ハ忽チ積屍ノ山ヲ爲セ凡内乱終ニ止ムナ
シ

時ニ佛國ノ大將ナポレオンナル者、豪邁雄武ニ



シテ不世出ノ英畧アリ、
此頃兵ニ將トシテ以太
利ニ入リ屢興地利ノ兵
ヲ破リ又エジプトニ征
伐セシガ本國ノ動亂尚
未ダ止マザルヲ聞キ陰

ニ大志ヲ抱キテ國ニ歸リ急ニ台衆政府ノ徒黨
ヲ驅逐シ自ヲ大統領トカリテ政事ヲ總理シ獨
リ全國ノ威權ヲ掌握ス此時歐羅巴ノ各國合併
シテ兵ヲ起シ佛國ニ攻入レ凡ナポレオン盡ク
之ヲ伐チ破テ大ニ人望ヲ得タリ終ニ千八百四
年光緒天皇
元化元年帝位ニ即キナポレオン一世ト號ス是ヨ
リ數年ノ間獨逸魯西亞瑞典西班牙等ノ諸國カ
ヲ合セテ屢佛軍ヲ抗敵スト雖凡ナポレオンノ
兵ヲ用中ルニ鬼神ノ出沒スルガ如ク向フ所盡
ク之ヲ破リ諸國ヲ平定シテ或ハ之ヲ屬地トシ

或ハ親戚功臣ヲ分封シテ其國王ト爲シ終ニ歐
羅巴ノ大器皆其屬國タルガ如ク其命ヲ奉ゼザ
ル者無キ至レリ此時英國ハ島國ニシテ海軍
ヲ以テ堅守スルガ故ニ佛國ノ命ニ從ハズ佛兵
モ亦之ヲ攻ムルヲ能ハズ因テ各國ニ令レテ一
切英屬ノ貿易ヲ禁シ英國ヲシテ自ヲ疲弊セシ
メント欲ス然ルニ魯西亞ハ此令ヲ奉セザルヲ
以テ紀元千八百十二年文化九年ナポレオンハ魯西
亞ヲ伐メント欲シ遂ニ四十六萬ノ大軍ヲ起シ
テ東北ニ向ヒ人戰數回ニシテ魯國ノ都モスコ

一府ニ攻入リシニ魯人ハ盡シ人家ヲ燒拂シテ
引退セタルバ佛軍此北地ノ寒氣ヲ凌クヲ能ハ
ズナポレオンモ巴ハヲ得ズ引退カントセシ
ニ大將既ニ路ヲ塞キ魯兵四方ヨリ襲撃セシカ
バ佛軍大敗シテ全軍皆略上ニ死亡シナポレオ
ンモ纔ニ逃レテパリスニ歸ルヲ得タリ然レ
バ尋テ忽十五萬ノ兵ヲ舉ゲ再ビ獨逸ニ進發ス
是ニ於テ歐羅巴各國皆兵ヲ興シテ之ヲ逆ヘ大
ニアイプシツクニ於テ會戰シ佛軍全ク敗走シ
各國ノ兵追フテパリスニ入り終ニナポレオン

佛國之圖



ノ位ヲ黜ケ、地中海中ノエルバ島ニ沛シ、前王ノ
 弟ヲ立テ、是ヲルイ十一世トス、因テ紀元千八百
 十四年、諸國ノ使節、地利ノ都ニ會合シ、各國ノ
 疆界等ヲ議定スルニ當リ、
 春ナボレマンハ、替ニエルバ
 島ヲ歸シ、出テ佛國ニ上陸セ
 シカバ、舊臣殘卒歡呼シテ之
 ヲ迎ヘ、遂ニ國王ヲ逐斥シ、再
 ビ帝位ニ昇ラシム、是ニ於テ
 大軍ヲ帥申夫比年時ニ連發

ス、各國大ニ愕キ、再ビ兵力ヲ合併シテ、
 ロールニ會シ、大戰シテ、終ニ佛軍ヲ破リ、再ビナボ
 レオンヲ黜ケ、遠ク亞非利加洲ノピスト、ペレガ
 島ニ流シテ、ルイ十八世ヲ位ニ復セリ、
 其後、國內稍平穩ニ属スト雖モ、國民徒黨シテ相
 競ノノ勢止マズ、チャールス十世、位ヲ繼ギ、威權ヲ
 以テ擅ニ政令ヲ行ヒシヨリ、紀元千八百三十年、
 内乱復タ起リ、一度政府ヲ覆スト雖モ、再オルレ
 アン侯ヲ立テ、王トシ、之ヲルイ、ヒリッポト名メク、
 然ルニ千八百四十八年ニ至リ、又動亂ヲ生シ、國

王ヲ廢シテ合衆國トシ、ナポレオン一世ノ勳ルイ、
ナポレオンナル者、大統領ニ任ゼシガ、終ニ帝ト
稱シ、ナポレオン三世ト稱ス、爾後、國內稍平定ニ
歸シ、國力富強ニシテ、文物隆興シ、加フルニ、ナポ

ナポレオン三世



レオン三世、英オヲ以テ政權
ヲ掌握シ、大ニ海陸軍ヲ起シ、
宇内ニ雄視ス、千八百五十四
年、英國ト合シテ、普國ヲ伐チ、
セバストポルノ砲臺ヲ陷シ
イレ、大ニ國威ヲ輝カシ、尋デ

千八百五十九年、サルヂニ、ナポレオン一世ノ勳ルイ、
戰ヒ、大ニ之ニ勝ツテ、始ント、各國ヲ降服スルイ
勢アリ、然ルニ千八百七十年、普魯士國ノ王族、
西班牙國王ト爲サントスルノ論ヨリ、普國ト和
親破レ、ナポレオン、自ヲ四十万ノ兵ニ將トシテ、
獨逸ノ國境ニ進發シ、普王モ亦自ヲ大軍ヲ帥キ
テ、之ニ會シ、ライン河ノ近傍ニ於テ、大ニ戰爭ア
リシガ、佛軍大ニ敗北シ、佛帝、セザンニ退キ、龍城
スト雖モ、防グト能ハズ、自、城ヲ開キテ、普軍ニ降
ル、是ニ因テ、國內又大ニ騷擾シ、再ビ合衆國ト爲

リ、更ニ普軍ヲ防ギシガ、終ニ支フルヲ能ハス、巨
方ノ償金ヲ出シ、土地ヲ割キテ、之ニ與ヘ、翌春ニ
至リ、兩國漸ク和睦ヲ爲シ、爾來、尚、合衆共和ノ政
ニ以テ、全國ヲ統治セリ、

英吉利

此國ハ歐羅巴ノ西北ナル島國ナリト古ノ土人
ヲ、ブリトント名メク、故ニ此國ヲ指シテ大ブレ
イトントモ云フ、羅馬ノ大將セサル始メテ此國
ヲ征伐シ、後、羅馬ノ屬國ト爲レリ、數百年ヲ歷テ、
羅馬ノ衰衰ハ、歐羅巴洲民大移轉ノ時ヨリ、獨逸

地方ノドイツ人サクソン人等、此國ニ移リ、土
人ヲ下ゲ、土地ヲ畧取シ、次第ニ分レテ、數多ノ諸
侯ト爲リ、其中七人諸侯アリテ、數百年間、互ニ戰
争シシガ、紀元八百二十七年淳和天皇四年ニ至リ、七
諸侯中、ウツセックス侯始メテ國內ヲ一統ス、然ル
ニ、其後、嚙馬人來寇シ之ヲ防グヲ能ハズ、漸ク上
地ヲ奪ハレ、之ニ屈伏シ、嚙國王カニートノ時ノ
如キ、全ク其領地ニ歸セリ、
其後、故ノ國王ノ子エドワード、王位ニ昇リシガ、
嚙國人、及ビ從來ノ諸侯、土地ヲ分領シ王ノ威令

失ヒ終ニ位ヲ黜ケラル、

エドワルド三世ノ時佛國ノ王チャールス四世歿シテ太子無シ、因テ英王ハ其近親ノ縁アルヲ以テ佛國ノ王位ニ昇ルベキノ論ヲ立テ終ニ自ラ大軍ヲ將中テ佛國ニ攻メ入り大ニ勝テ殆ド全國ヲ征服セントスルノ勢アリ此戦争數世相繼ギ前後九十餘年ノ間屢佛國ノ兵ヲ破リ或ハ佛王ヲ擒ニセシマテリヘヌリ六世ニ至リ内乱ニ因テ終ニ兵ヲ班ヘシ是ニ至テ盡ク佛國ノ領地ヲ失ヘリ此時政令衰ヘヨリク侯其前王ノ血統

タルヲ以テ國王タランイヲ唱ヘ兵ヲ起シテ國王ニ抗シ其子終ニ王位ニ昇リエドワルド四世ト號ス是ニ於テ國內二黨ニ分裂シ二十餘年間ノ大乱ト爲リ常ニ戦争止マザリシガヘクリ七世起テ此國乱ヲ平ゲ始テ平和ニ至ル是紀元千四百八十五年ニ在リ然レバ其後又時々内乱ナキニアラズ

千五百五十八年正親町天皇
永祿元年女王エリサベス位ニ即ク賢明ニシテ能ク政ヲ修メ國內平穩ニシテ航海貿易ノ法盛ニ開ケ又西班牙國ト戦争起

リシ時敵百五十艘ノ軍艦ヲ以テ攻來リシガ、盡
 之ヲ殲滅スルニ至レリ、此頃ヨリ英國ノ海軍、
 次第ニ盛大ニ赴キ、海外ノ屬地、又頗ル増加セリ、
 女王歿スルニ及ビ、其血縁タルヲ以テ、クコットラ



ンドノ王ヲ迎ヘテ、王トシ、之
 ヲビームス、一世トス、是ニ於
 テ、兩國始メテ合併シテ、一國
 一爲ル、繼テチャールズ一世立
 テ、悉ニ政事ヲ行ヒシカバ、國
 人皆之ヲ怨ミ、忽チ内亂ヲ起

シ、コロムホルナル者、終ニ國王ヲ弑シ、國體ヲ變
 シテ、共和政治トシ、自、大統領トナリシガ、久シカ
 ラズシテ、前王ノ子、チャールズ二世、國ヲ復シテ、再
 ビ王國トシ、第ビームス二世、繼テ王トナリ、及ビ
 復々内亂起リ、國王ヲ逐ヒ黜ク、此頃和蘭ノ大統
 領、中ルム三世、賢ニシテ、且英王ノ親屬タルニ
 因リ迎ヘ立テ王トス、
 中ルム三世、善ク民ヲ愛シ、治安ヲ圖リ、國內平
 穩ニシテ曰ニ富盛ニ赴キ、又屢佛國、ルイ十四
 世ノ戰爭アリ、中ルム歿スルニ及ビ、女王アリ

不位一昇リ、子ナクシテ歿ス、是に於テ其血統ヲ
 選ビ、獨逸國ノ内、ハノーブルノ王、ヒオルデ三世
 ヲ迎ヘテ、王トス、即今代女王ノ家系ナリ、其後西
 班牙佛蘭西等ト戦争アリシガ、國內ハ平穩ニシ
 テ、貿易盛大ニ開ケ、海外ノ領地モ亦隨テ廣大ニ
 至レリ、然ルニ、ヒオルデノ政、不正ナルヲアリシ
 コリ、千七百七十六年後赫爾大皇亞米利加洲ノ
 屬地叛テ兵ヲ舉テ、合衆國ト稱シ、獨立ヒヨトス、
 英王之ヲ知シテ、七年間戦争ニ及ビシガ、之ヲ平
 クルニ能ハス終ニ其獨立ヲ許シテ和議ヲ講ズ

尋テ佛國ノ大騷亂起リ、ナポレオン一世ノ四方
 ヲ攻伐スルニ至リ、此國ハ海峽ノ隔ルガ故ニ、佛
 軍遂ニ攻來ルニ得ズ、然レモナポレオンハ、各
 國ニ令シテ、一切英國トノ貿易ヲ禁ジ、之ヲ疲弊
 セシムルニテ謀レリ、後英國ノ大將ヒュリング



トン、兵ヲ率テ、西班牙ニ力ヲ
 合ヒ、佛軍ト戦テ、屢之ヲ破リ、其
 國ニ侵ハセリ、後又、ナポレオン
 ノエルバ島ヲ追ヒ、再ヒ兵ヲ舉
 グルニ當リ、ナポレオンハ、大

西班牙國史卷之二
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

戰ニ、エルクシダトレ、諸國ノ兵ヲ指揮シテ、之ヲ
破リ、終ニナポレオンノ大亂ヲ平治セリ、其後、國
内無事ニシテ、航海貿易日ニ繁盛ヲ極メ、相繼テ
今代ノ女王ビクトリア、千八百三十九年（イギリス女王維多利亞）
即位ニ即キ、鴉片ノ事ニ因テ清國ト戦争アリ、三
十年ノ後、香港ノ地ヲ得テ、和議ニ及ベリ、千八百五
十四年ヨリ、佛國ト合シテ、魯國ヲ攻メ、其砲臺ヒ
バクトボルヲ陥シイレ、戦争止ム、千八百六十年、
再ニ清國ト戦ヲ起シ、北京ヲ陥シイレ、又償金ヲ
取テ、和議ヲ爲セリ、現今、國內平靜ニシテ、富強ノ

勢愈盛ナリ

獨逸 輿地利 普魯士

獨逸ノ一名ヲ日月曼ト云フ、歐羅巴ノ中央ニア
リ、羅馬ノ盛ナル頃、此地方ハ野民ノ割據スル所
ニシテ、未ダ其内地ヲ征服スルコト能ハザリシガ
佛國シャルレマン帝ノ時ニ至リ、始テ其政令ニ從
フ、後帝ノ封土公裂スルニ及ビ、獨逸ハルイ、ドイ
ッナル者、國王トナリ、域内皆封建ノ制ヲ用テ、
大小許多ノ諸侯ヲシテ、之ヲ分領セシム、後チ
ルス王ノ時、暫ク佛國ニ合スト、雖旧國王不徳ニ

シテ人望ヲ失ヒ終ニ位ヲ黜ケラル

紀元八百八十八年

宇多帝仁和四年

チャールス王位ヲ退

クノ後ハ獨逸王ノ位ニ昇ル者ハ總テ一定ノ系

統ヲ以テセズ國內衆諸侯ノ選舉ニ係リ其推其

ダ重シ後世ニ至テハ大諸侯ヒ人ニテ國王ヲ選

舉スルトト定マレリハヌリ王ノ時善ク國ヲ治

メホシガリヨリ邊境ヲ侵ス者ヲ討破リ大ニ

武威ヲ輝セリ其子オソ一世繼デ立ツ英邁ニシ

テオカアリ終ニ以太利ノ國亂ヲ平ゲ其王位ヲ

傳統シ紀元九百六十二年利ヒ天皇應和二年羅馬法王ノ

加冠ニ因テ帝位ニ昇ル是ノ獨逸帝ノ始トス後

コンラッド三世ノ時ニ至リ國內人ニ亂レ數百年

間戰爭絶エズ政令大ニ衰ハ人小ノ諸侯皆獨立

國ノ如ク各隨意ノ政ヲ行ヒ更ニ國帝ノ命ヲ奉

ビズ國帝ト諸侯ノ間ニ屢戰爭起リ又羅馬法王

ト相繼セズシテ尖世ノ混亂絶ユルナシ後十

字軍ノ起ルニ及ビ國內ノ諸侯之ニ赴ク者多ク

フレデリック一世ノ如キ自ラ兵ヲ帥平テ小亞細

亞ヲ征シ水ニ溺レテ死セリ其後コンラッド四世

ノ歿スル後國內復大ニ擾亂シ國帝ヲ立ガザル

丁、殆ト二十年ニ及ベリ、
 紀元千二百七十三年ハプスボルグ侯ルドルフ
 一世ヲ立テ帝位ニ即カシム、是今ノ奧地利ノ始
 祖ナリ、其後又數代ノ間、内乱屢起ル、次デリクセ
 ヲボルグ侯ノ系統、帝位ニ在リ、數世ナリシガ、
 千四百三十八年ヨリ、又ハプスボルグ侯アルベ
 ルトニ位ヲ傳フ、次デ千四百九十五年マキシミ
 リヤン一世帝位ニ即キ、衰勢ヲ挽回シテ、積年ノ
 騷乱ヲ平ゲ、威令漸ク國中ニ行ハレ、諸侯ヲ會同
 シテ、國法ヲ改革シ、國內治安ト稱ヒリ、此頃ヨリ

獨逸帝ノ位ハ、奧地利ノ家系ニテ繼續スベキ事
 ト定マリ、且ボヘミヤホンガリーノ二國又奧地
 利ノ屬地ニ歸ヒシカバ、千五百年代ヨリ、其勢最
 盛ニシテ、歐羅巴中ノ一大國ト爲レリ、目マヤシ
 ミリヤン一世ノ孫チャールス五世、其血統ヲ以テ、



兼テ西班牙ノ王位ニ昇リ
 シガ故ニ、兩國一帝ノ統轄
 ニ屬シ、其領地ハ和蘭比耳
 時ヨリ、以太利ニ跨リ、海外
 ノ屬國ハ殊ニ南北亞米利

如ノ地ニ多ク實ニ當時無双ノ大國ニシテ、日輪
嘗テ其領内ニ没スルヲ無シト稱セリ、然レモ佛
王フランシス一世之ニ敵シテ屢戰ヲ起シ、且土
兒其ノ勢甚ダ猛烈ニシテ東迎テ攻鬪シ、頗一國
内ニ侵ハス、其間教法改革ノ争鬪、國中ニ起リ、嚴
ニ之ヲ禁ズト雖モ人民遂ニ從ハズ、千五百三十
一年、新教ニ歸依スル諸侯、カヲ合ヒテ、之ヲ主張
シ、全國大ニ動搖シ、刺^スハ、外國ヨリモ此黨ヲ助ケ
テ、國帝ニ抵抗セシメシカバ、巴^バム^ムヲ得ズ、和議
ヲ講ジ、新教ノ禁ヲ弛メ、稍平穩ニ復ヒリ、

紀元、千五百五十六年、ハールス帝自ラ位ヲ退ギ、
其子フィリップ二世^ニ、西班牙ノ王位ヲ譲リ、其弟ヘ
ルザンド一世ヲ以テ、獨逸帝ノ位ヲ嗣ガシム、
是ニ於テ、兩國再ビ分レ、次デヘルチナンド二世
ニ至リ、再ビ新教ノ黨ヲ束縛セシヨリ、更ニ復内
乱ヲ發シ、千六百十八年ヨリ、國中三十年間ノ大
争乱トナリ、其間人命ヲ損亡セル^シ、其幾數萬ナ
ル^ヲヲ知ラズ、殊ニ英佛瑞典和蘭ノ諸國兵ヲ出
シテ、新教ノ黨ヲ助ケシカバ、千六百四十八年終
ニエストハリアニ於テ、大集會ヲ爲シ、各國和議

ヲ結ビ、新教舊教、并ニ行ハレテ、相侵サミルコト
爲レリ、次デレオボルド帝ノ時、ホシガリノ人
民、乱ヲ作シ、土兒其ノ大軍、此處ニ乘ジ、國都平
ンナヲ攻囲ムニ至リシガ、獨逸ノ兵、擊テ之ヲ
退ケ、又ホシガリノ平定スルコトヲ得タリ、其後、
チャールス六世ノ歿スルニ及ビ、太子無ク、唯マリ
ヤ、テレサト云ヘル一女アリシガ、女帝位ヲ繼グ
ノ舊例ナシトテ、大ニ争乱起レリ、然レモ、終ニ女
帝立テ、和議ヲ講ビリ、且ヨルレーン侯ヲアンシ
ス一世、既ニ女帝ト婚スルヲ以テ、兩家合伊シテ、

フロシヤノ國王ハ、位ノ傳ハ、

普魯士國ハ、元來獨逸中ノ一諸侯ニシテ、ブラン
デンブルグヲ領ヒシガ、フレデリック中ルレハ、
世、教法改革ノ騒乱ニ因テ、更ニ領地ヲ増シ、始メ
テ獨逸中著名ノ一國ト爲レリ、且フレデリックキ
ルレハ、勇猛果斷ニシテ、善ク國ヲ治メ、富强ノ
基ヲ開キシカバ、其子フレデリック一世ニ至リ、十
七百一年、東山天皇元祿十四年終ニ王國ト爲リ、嗣デフ
レデリック二世、特ニ智勇兼備ノ豪傑ニシテ、各
ト戰ヒ、屢勝利ヲ得テ、更ニ境土ヲ擴メ、武威ヲ一

世ニ輝カシ、又文化ヲ勸メ、法度ヲ改革シ、歐羅巴中ノ強國ト稱セラル、故ニ國民之ヲ大王ト尊稱ス、其初メ、埃國ノ女帝マリヤ、テレサ位ニ即クニ及ビ、フレデリック二世兵ヲ起シテ、埃地利ヲ撃チ、シレシトヲ攻取テ、之ヲ領セリ、次デ、各國普魯士

世ニキリアレフ



ノ日ニ富盛ニ赴クヲ嫉ミ、魯西亞、佛蘭西、瑞典、及ビ獨逸中ノ諸國一致シテ、此ニ埃地利ニカヲ合ヒ、普國ヲ亡ボサントヒシキ、フレデ

リック二世之ト抗敵シ、千七百五十七年、佛蘭西大皇帝ヨリ、七年間ノ大戦争ニ及ビ、常ニ數倍ノ大敵ニ當リ、屢苦戦スト雖モ、少シモ屈セズ、終ニ尺寸ノ領地ヲモ縮ムルヲ無クシテ、和議ヲ講スルニ至ル、是ヨリ、普王ノ英名歐洲ニ轟ケリ、其後千七百年代ノ終ニ至ルマデ、國內平穩ニシテ、著ルシキ沿革アラズ、千七百九十五年、埃、普ノ兩國、魯西亞ト共ニポーランドヲ滅シ、之ヲ三分シテ、各疆土ヲ増セリ、佛國大騷乱ノ時ハ、埃地利ノフランシス二世、獨

逸帝ノ位ニ在テ、屢兵ヲ出シテ、佛國ト戰爭ニ及
ビシガ、毎ニナポレオンノ爲メニ討破ラレ、前後
兩度、國都ニ攻入ラレ、之ヲ防グニ能ハズ、終ニ地
ヲ割キ、償金ヲ出シテ、和議ヲ講ジ、且佛帝ノ意ニ
循ヒテ、獨逸帝ノ號ヲ去レリ、故ニ爾後、奧地利帝
ト稱スト雖モ、獨逸全國ハ、同盟國ト稱シテ、別ニ
皇帝ヲ立ツルナシ、

普魯士國モ、亦屢ナポレオント戰ヒシガ、千八百
七年、大ニ敗ラレ、封土ノ過半ヲ失ヒ、漸ク和睦ニ
到レリ、其後、ナポレオンノ魯國ニ攻入リ、大敗ス
ルニ及ビ、獨逸ノ諸國、皆兵ヲ舉ゲテ、佛國ニ向ス、
此時、普王フレドリッギ、中ルレム三世、他國ニ先ダ
チテ、兵ヲ起シ、奧地利魯西亞等ト共ニ、ライパシ
タニ於テ、大ニナポレオント戰ヒ、之ヲ破テ、佛國
ニ侵入シ、ナポレオンノ位ヲ黜ケ、因テ、奧地利ノ
都中、インナニ於テ、大集會ヲ爲シ、各國ノ疆界ヲ
定メ、奧普兩國モ、亦其故地ヲ復スルヲ得タリ、
又獨逸同盟ノ諸邦ハ、皆互ニ獨立スト雖モ、一致
シテ、政事ヲ行フベキ約ナルガ故ニ、各邦ノ使節ヲ
毎歲ノフランクフルト府ニ集會シ、奧地利ノ使節

ヲ議長トシテ、國事ヲ決セリ、

千八百六十年、奧地利ト以太利ノ間ニ戦争起リ、

佛帝トポレオン三世、以太利ニ力ヲ合セ、大戦争

三度アリシガ、終ニ奧國ノ兵破レ、ロンバルド

ヲ奪キ、以太利ニ歸シテ、和議ニ及ベリ、

千八百六十六年、慶應奧普兩國ノ間ニ不和ヲ生

ジ、終ニ獨逸全國ノ争乱ト爲リ、次デキエーゾ、グ

ラツノ大戦争アリ、普軍大ニ奧軍ヲ破リ、和議ヲ

講ズルニ及ンデ、奧國ハ獨逸同盟中ヲ斥ケラレ、

ハノーブル、ヘッセル、ナッサウ、等ノ數邦、亡ヒテ

普王



普國ノ地ニ入リ、其餘ノ各
邦ハ、南北二部ニ分レ、北部
ハ、皆普國ノ管轄ニ歸ス、故
ニ普國ノ勢、愈盛大ニ赴ケ
リ、

非王



ピエモンテ

千八百七十年、明治西斑牙
國ノ王位相續ノ論ヨリシ
テ、普國、佛國ト戦争起リ、普
王中ルム一世、宰相ビス
マークト共ニ、大軍ヲ帥キ

テ、佛國、攻入リ、ナポレオン三世ヲヒダシ、擒
ニシ、パリスノ都ヲ攻囲ミ、終ニ大勝利ヲ得ケ、ハ
ルサス、ロレーンノ二州ヲ取テ、和議ヲ講ゼリ、是
ヨリ、普王兼テ獨逸皇帝ノ位ニ昇リ、南北獨逸ヲ
合シテ、全國ヲ統轄シ、其國勢實ニ宇内ニ雄視セ
リ、
奧地利ノ今帝ハ、フランシス、ジョージ一世ト名
ジク、國勢ハ、昔ノ如ク盛大ナラズ、

瑞西

瑞西國ハ、獨逸ノ西南ニアル山國ナリ、佛帝ジョー

レマンノ時、奧國ニ屬セシガ、後獨逸ニ歸シ、獨
逸帝ヨリ、鎮將ヲ置テ、之ヲ管轄セリ、彼ノ奧地利
ノ祖ハ、プスホルグ侯ルドルフハ、元來、此國ノ貴
族ナリシガ、千二百七十三年、獨逸帝ノ位ニ昇レ
ルヲ以テ、爾來、此國大抵奧國ニ屬セリ、後ノルベ
ルト一世ノ時、專ラ威權ヲ以テ、國民ヲ制御セン
トシ、ゲスレル等ノ如キ、苛酷ナル鎮將ヲ遣リ、賦
稅ヲ重クシ、虐政ヲ施セシヲ以テ、國內ノ三州、相
結ンデ義兵ヲ起シ、中ルレムテルナル者、鎮將ヲ
殺シ、紀元千三百三年、後ニ條帝ヨリ、遂ニ戰端ヲ

開ケリ是ニ於テ、埃國ヨリ、此乱ヲ鎮壓セントシ
テ、兵ヲ出セシガ、後、大戦争アリテ、瑞西ノ兵、大ニ
之ヲ破リ、近傍ノ州郡、同盟ニ加ハル者、次第ニ多
ク、其勢頗盛ナリ、其後、又屢、埃國ノ兵ヲ被テ、ルト
雖、埃山地ノ操練ニ熟シタル精兵ヲ以テ、埃阻ニ
據リ、恐シク之ヲ防禦シ、少シクモ屈セズ、其後、埃
國ニ叛キテ、同盟ニ加ハル者、多ク、千四百七十五
年、ブルゴンシ侯ト戦テ、大勝利ヲ得タリ、千四百
九十九年、獨逸帝マギシミリアンノ時、一舉シテ、
此國ノ乱ヲ平グント欲シ、大軍ヲ以テ、攻來ルト
雖、埃國民一致シテ、激戦シ、埃軍ヲ破ル、前後六
戦争ニ及ビシカバ、近隣ノ州郡、同盟ニ入ル者益
多ク、其勢愈強盛ニ及ベリ、因テ、埃國ヨリ、和議ヲ
約シ、終ニ其獨立ヲ許スニ至レリ、
其後、教法改革ノ争乱ノ時、此國モ亦頗ル動搖ス、
後、又佛帝ナポレオン一世ノ時ニ至リ、一旦、其版
圖ニ歸スト雖、埃、埃都ノ大會議ニ於テ、再ビ獨立
國ト爲リ、瑞西共和國ト稱シ、其頃、二十二州ニ分
テリ、其後、國內黨與分レ、且、教法ノ異論ヨリ、人心
一和セズ、終ニ、千八百四十五年、舊教ニ属スル者

兵ヲ起セリ、然レテ、忽チ之ヲ鎮定ス、後、諸州ノ法
度、互ニ異リテ、政令全ク一致セザルニ因リ、千
百四十八年、孝明天皇嘉永元年、大ニ全國二十二州ノ代議
士ヲ集會シ、國法ヲ改革シ、大統領ヲ立テ、公會ノ
法ヲ設ケ、全國ノ政務ヲ執行スルヲト爲レリ、

和蘭 比耳時

和蘭ハ、獨逸ノ西北ニナリ、ネーデルラントト稱
ス、古代ハ、比耳時ト共ニ、一國タリ、羅馬大將セサル
時、之ヲ征服シテ、其屬地ト爲ス、後、羅馬ノ末世
ニ至テ、國內大小ノ諸侯、各土地ヲ分領セシガ、佛

帝シローレマニノ時、全國皆其封土ニ入ル、帝歿シ
テ、佛國ト獨逸ト戰爭起ルニ及ビ、此國常ニ獨逸
ニ與ス、其後數百年間、諸侯貴族尙諸州郡ヲ分領
シ、皆土着シテ互ニ獨立シ、一定ノ國王アラザル
ガ故、動モスレバ、兵ヲ交ヘ、戰爭屢起リ、又諸侯
互ニ婚姻ヲ結ブノ故ヲ以テ、領地ニ沿革ヲ生ミ、
終ニ國內ノ州郡、大畧佛國ノ大諸侯ブルボンジ
公ノ領地ニ歸セリブルボンジ公ノ女、奧地利帝
ト婚スルニ及ビ、終ニ又奧國ニ歸シ、其後轉ジテ
西班牙ノ屬ト爲ル、時ニ、西班牙王ヒリナ、佛

シテ民ヲ虐シ、殊ニ教法改革ノ時、嚴ニ新教ヲ禁
 ジ、殺戮ヲ恣ニセシカバ、國人皆王ヲ怒ミテ兵ヲ
 舉ゲ、之ニ敵シ、千五百七十九年正新四年終ニ
 合衆國ト爲ル、此時ヨリ、國內南北三部ニ分レ、南



部ハ今ノ比耳時ニシテ、南西
 班牙ニ屬シ、北部ハ今ノ和蘭
 ニシテ、七州一被シ、中レレム
 公ヲ推シテ、大將トシ、數年間
 西班牙ト激戰シ、終ニ獨立ス
 ルヲ得タリ、爾後、國勢次第

一強ク、其海軍殊ニ盛ニシテ、遠シ西、西班牙、葡萄牙
 等ノ屬地ヲ奪ヒ、海外ノ領地、甚ダ廣大ニ爲レリ、
 但シ此頃、葡萄牙人ヲ逐ヒテ、日本ヘ通商ヲ開
 ケリ、是和蘭最盛ノ時代ニシテ、内ハ國內ノ都府
 ヨリ、外ハ航海貿易ニ至ルマデ、益々其昌盛ヲ極メ、
 終ニ英國ト相競ヒ、千六百五十二年後光緒帝ヨ
 リ三年間、兩國ノ大戦争ニ及ビ、屢海軍ヲ以テ英
 軍ヲ破リ、殊ニデロイトハ大將トシテ、テラス
 河ニ溯リ、英都ノ近傍マデ攻入リ、大勝ヲ得シ
 アリ、其後、千六百七十二年、英佛獨逸ノ諸國ガ

合セテ四方ヨリ攻來リシダ、キルム公一世兵
ヲ將トシ、數倍ノ大敵ト戰テ屈セズ、終ニ和睦スル
テ至ル、後英國ニ内乱起リ、國王ヲ廢スルニ及ビ
キルムヲ迎ヘテ王トス、故ニ當時和蘭英國合
併シテ、殆ト一國ノ如ク、カヲ合セテ、屢佛國ト戰
争セリ、其後西班牙ノ王位相續ノ乱起リ、又佛國
ト戰ヒシガ、其和睦ノ時、比耳時ノ地ヲ壤地利ノ
細地ニ歸セリ、

佛國大乱ノ時ニ當リ、千七百九十二年、佛國ノ兵、
直チニ比耳時ヲ平ゲ、和蘭ニ向ヒタルガ、其頃和

蘭ノ國內、徒黨相分レ、佛軍ニ向フ能ハズ、終ニ地
ヲ割テ、和睦ヲ結ビ、バタビヤン合衆國ト稱シ、半
ハ之ニ服從ス、故ニ英國トノ和親破レ、海外ノ領
地ハ、皆英國ニ奪ハル、次デナボレオン一世、其弟
ルイナボレオンヲ、此國ニ封シテ王位ニ即カシ
メ、始メテ和蘭王國ト稱セシガ、久シカラズシテ
之ヲ廢シ、千八百十年、全國佛蘭西ノ領ニ歸セリ
其後、ナボレオンノ魯西亞ニ大敗スルニ及ビ、和
蘭ノ國內、皆兵ヲ舉ゲ、獨立シキルム一世ヲ
立テ王トス、是千八百十四年、光緒大皇帝ノ
十一年、

戰ノトロルトヲ



テ、地、利、ノ、都、平、一、ノ、會、議
ニ、於、テ、東、印、度、ノ、領、地、ヲ、英、國、ヨ
リ、復、シ、又、比、耳、時、ヲ、和、蘭、ニ、合、併
シ、テ、一、國、ト、ス、又、十、ポ、レ、オ、ン、ノ、
エ、ル、バ、島、ヨ、リ、遁、レ、再、ビ、兵、ヲ、舉
ゲ、テ、比、耳、時、ニ、侵、入、ス、ル、ニ、當、リ、
和、蘭、ノ、兵、英、吉、利、普、魯、士、等、ト、共

ニ、之、ヲ、懲、ヘ、フ、ト、ル、ハ、一、ニ、於、テ、大、戰、シ、遂、ニ、之
ヲ、破、レ、一、至、ル、其、後、國、内、平、穩、ニ、シ、テ、貿、易、製、造、ノ
業、益、盛、盛、ニ、赴、ケ、リ

其、後、國、民、教、法、ノ、異、論、ヨ、リ、南、且、自、ラ、不、和、ヲ、生、ジ、
中、ル、ハ、一、ニ、世、ノ、時、比、耳、時、兵、ノ、起、シ、テ、和、蘭、ニ、教
キ、數、度、戰、争、ノ、後、和、議、ニ、及、ス、是、ニ、於、テ、比、耳、時、獨
立、シ、テ、始、メ、テ、王、國、ト、稱、シ、獨、逸、列、國、ノ、内、ヲ、サ、ス
コ、ー、ブ、ル、グ、ノ、公、子、リ、オ、ポ、ル、ド、ヲ、迎、ヘ、テ、位、ニ、即
カ、ン、ム、是、ノ、千、八、百、三、十、九、年、天保十年ニ、在、リ、景、日
リ、和、蘭、比、耳、時、又、兩、國、ニ、分、ル、和、蘭、ハ、千、八、百、四、十
九、年、ヨ、リ、今、代、ノ、國、王、中、ル、レ、ム、三、世、位、ニ、昇、リ、地
耳、時、ハ、千、八、百、六、十、五、年、ヨ、リ、今、王、リ、オ、ポ、ル、ド、ニ
世、位、ニ、即、ケ、リ、

噠馬 瑞典 那威

此三國ハ、歐羅巴ノ北ニアリ、古代之ヲスカン
ナヒアト総稱シ、或ハ分レ、或ハ合シ、今世ハ、瑞典
那威ノ二國、合併シテ、一王ニ屬ス、此國ノ人民、上
世ニ在テハ、數多ノ部落ニ分レ、風俗強悍ニシテ、
戰鬪ヲ好ミ、且互ニ徒黨ヲ結ビ、兵船ヲ以テ、海賊
ヲ業トス、紀元八百年代ノ始ヨリ、歐羅巴ノ諸國
ヲ侵畧シテ、其勢甚タ猛烈ノリ、又國內ノ形勢ハ、
漸々許多ノ諸侯ニ分レシ者、又互ニ興亡アリテ、
小邦相合併シ、九百年代ノ末ニ至リ、終ニ噠馬瑞

典、那威ノ三王國トナリ、是ヨリ先キ噠馬ノ人
民、屢英國ヲ侵シ、土地ヲ蠶食シテ、之ヲ領スルニ
至ル、次デ八百七十年ノ頃、英國ノ王子ナル
レド、兵ヲ興シテ、噠國人ヲ破リ、漸々國勢ヲ挽回
セシガ、久シカラズシテ、又噠國人、之ヲ攻畧シ、殊
ニカニト王ノ如キ、終ニ英ノ全國ヲ平定シテ、
領地ニ歸シ、兼テ其國ノ王位ニ昇レリ、又九百九
十九年、一條帝長ノ頃、那威ヲ合セテ、之ヲ領シ、國
勢最盛ナリ、又那威ノ人民ハ、八百年代ノ始ヨリ、屢
佛國ニ攻ハリタルガ、終ニ北岸ノ地ヲ奪ヒ、

マシナリ侯ト爲ル、其後紀元千六十五年ニ、ノル
マンナール侯キルレム英國ヲ一統セリ、

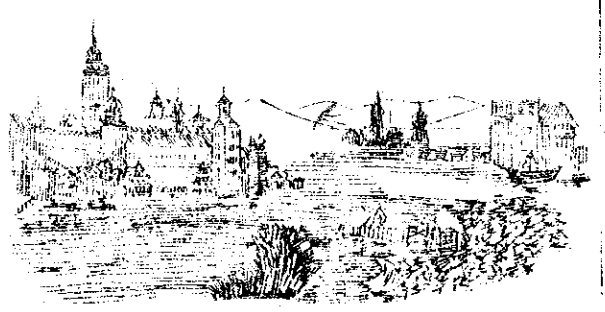
瑞典國王カニート歿スルノ後、三國又分レ、互ニ戰
闘アリテ、久シク踞足ノ勢ヲ爲ヒシガ、女王マー
ガレットニ至リ、復合併シテ、三國ニ王タリ、此マー
ガレットハ、那威王ノ妃ニシテ、瑞典國王ノ女ナリ、故
ニ那威王ノ歿スルニ及ビ、遂ニ位ニ即キ、兩國ニ
君臨ス、此頃、瑞典ハアルバルト王ノ世ナリシガ
不徳ニシテ、内乱ヲ生ジ、人心皆マーガレットニ歸
セルヲ以テ、女王之ヲ平定シ、遂ニ瑞典王ヲ擒ニ

ス是ニ於テ、千三百五十七年、後リハ大皇帝、應永四年、女王三

國ノ名代人ヲカルムハニ會合シ、其ニ一致シテ
萬世永續スベト盟約ヲ爲ヒリ、然ルニ、女王歿ス
ルノ後、代々ノ王皆瑞典國ニ都シテ、瑞典那威ヲ抑
制セルガ故ニ、兩國皆之ヲ怨ミ、殊ニタリスマ
ア二世、不徳ニシテ、政令益乱レ、千五百二十四
年ニ至リ、大ニ内乱起リ、國民終ニ王ヲ逐逐ケ、其
伯父フレデリックヲ立テ王トス、瑞典モ亦久シク
瑞典王ノ虐政ノ怨甚ヒシガ、此内乱ニ乘ジ、故ノ
國王ノ子孫ハ、アノワツサ、民間ヨリ起リ、兵ヲ

然クテ、全國ヲ平定シ、終ニ獨立國ト爲ルヲ得メ
 リ、然レモ、那威ハ、尚久シク、噠國ニ屬セリ、
 其後、獲ニ於テ、法改革ノ争、起ルニ及ビ、三
 國具ニ新教ヲ奉ク、國ナレバ、兵ヲ出シテ、探
 帝ト戦ハリ、殊ニ瑞典王、ダス、テ、アドルフハ、自
 ラ、精兵ヲ帥キテ、數倍ノ大軍ヲ破リ、大ニ勇戦セ
 シ、ガ、終ニ命ノ殞ヒルニ至ル、然レモ、此戦争ノ和
 議、因テ、瑞典ノ疆土、大ニ擴マリ、バルチック海ノ
 濱ニ達シ、尋テ、兵制ヲ改革シ、學問貿易ヲ進メ、國
 勢更ニ強大ニシテ、噠國ト相競ヘリ、

瑞典ノ都スホルクハノ圖



其後、瑞典ノ有名ナル國王ハ、
 ルス十二世ニシテ、霸業ヲ企
 テ、四隣ヲ蠶食ス、此頃、魯西亜ハ、
 ピートル大帝ノ世ニシテ、帝也亦
 土地ヲ西方ニ擴メントス、是ニ
 於テ、兩雄相争ヒ、數年間ノ大戦
 争アリ、タルス王ハ、直チニ魯

國ノ内地ニ侵ハセント欲シ、千六百九十七年、
 天皇元大軍ノ帥中、天魯國ノ南部ニ侵ハシ、
 禄十年大戦シ、敗レテ土兒其ニ遁ル、此戦争ニ
 トル帝ト大戦シ、敗レテ土兒其ニ遁ル、此戦争ニ

因テ、瑞典大ニ疲弊シ、遂ニ國內黨與相分シ、長平
總ナラズ、然レモ、瑞典國ハ久シク無事ナリ、
ナポレオンノ時ニ至リ、瑞典王カールス十三世、
位ニ在リシガ、其太子歿スルニ因テ、ナポレオン
ノ將帥ベルナドットヲ迎ヘテ、之ヲ太子トス、其後
ナポレオンノ魯西亜ニ敗軍スルニ及ビ、ミルナ
ドット瑞典ノ軍ノ帥中、列國ト合從シ、佛國ノ乱
ヲ平ズ、然レモ、瑞典國ハ南佛國ニ與セシガ故ニ、瑞
典ト戰爭起リ、千八百十四年、先格天皇帝又瑞典終
ニ挪威ノ攻取テ、今ニ至ルマデ、之ヲ領セリ、千八

百四十四年ハルノドット歿シテ、太子オスカル位
ニ昇リ、次テ今モカールス十五世ニ傳フ、

瑞典國ハ往昔ヨリ、獨逸中ノスレーイスウイグホルス
テンノ兩邦ヲ併セ領セシガ、千八百六十三年、今
代ノ國王クリスタアン九世、位ニ即ク、ノ翌年、獨
逸ト戰爭起リ、終ニ此兩邦ヲ割テ、和議セシヨリ、
益小國トナレリ、

西班牙 葡萄牙

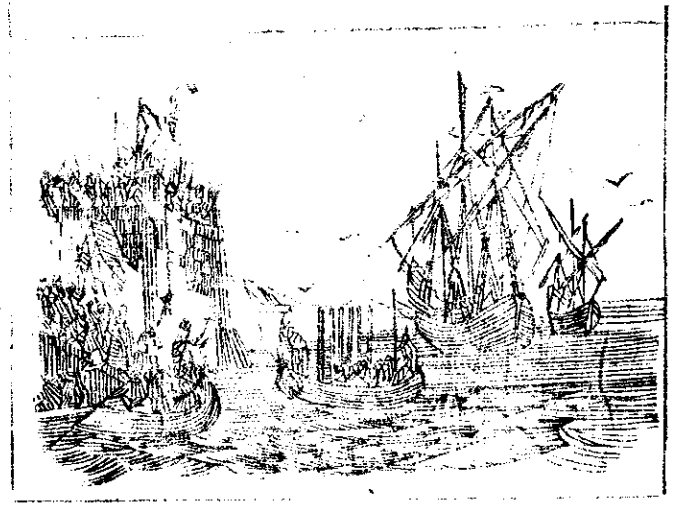
此國ハ歐羅巴ノ西南ニアリ、古代ハカルタージュ
領地ニ歸シ、後又羅馬ノ所領トナリシガ、洲民太

移轉ノ時、ウシボツト名ヅタル人民、此國ニ移住シテ、邦土ヲ分領ヒリ、然ルニ、亞細亞ノアラビヤニ、回々教起リ、其門徒兵力ヲ以テ、四隣ヲ威逼シ、領地ヲ擴ムレニ當リ、紀元七百百年ノ頃ヨリ、此國モ亦回教門徒ノ爲メニ攻入ラレ、其勢猛烈ニシテ、國人之ヲ防ダシ能ハズ、全國終ニ其有ニ歸シ、回教法王、此國ニ在住シ、所々ニ都府ヲ建テ、邦土ヲ領畧ヒリ、土人ハ皆之ガ爲メニ、山中ニ引退キ、嶮岨ノ地ニ據リ、敢テ屈ヒズ、力ヲ盡シ、アラビヤ人ト戰爭スルニ數百年間止ムト無カリシガ、次

第三邦土ヲ恢復シ、アラビヤ人ヲ逐退ク、大小ノ諸侯相率テ、土地ヲ分領スルニ至レリ、其後、紀元千四百四十五年ノ頃、後花園ニ至リ國勢次第ニ變革シテ、大ハ小ヲ併セ、四王國ト爲ル、即チ葡萄牙カスチルアラゴンナバル等、是ナリ、アラゴンノ王ヘルダナント、千四百七十九年、位ニ即キ、カスチルヲ併セ、又ナバルヲ平ゲ、アラビヤ人ノ尚南部ニ在ル者ヲ逐攘ヒ、終ニ大國ト爲リ、國ヲ西班牙ト號ス、此頃ヨリ、國勢甚盛ニシテ、地中海中ノ諸島ヲ併セ、航海ノ業最開ク、又

以太利人ナル、コルムブスニ船舶ヲ給、始メテ
 亞米利加ノ地ヲ發見セシメ、其地ヲ開闢シ、版

圖ノ帆出スガムルコ



圖ヲ廣メ、利益ヲ得ル、
 頗ル大ナリ、
 此頃、葡萄牙國ニ亦航海
 ノ業、次第ニ繁盛ニ赴キ、
 國王ヘメリ殊ニ之ヲ勉
 勵セシメ、毎年、數艘
 艦ヲ出シ、南非利加洲
 ノ海岸ヲ經歷セシハ、是

ヨリ先キ、西ニマデラアゾール等ノ諸島ヲ檢出
 シ、尚漸クニ亞非利加ノ西岸ニ沿ヒ、領土ヲ廣メ
 且、是ヨリ以前、海路ヨリシテ、印度ニ至リ難キヲ
 以テ、常ニ此海路ヲ開カント志ヒシガ、千四百八
 十六年、此國ノ船、始メテ亞非利加ノ南端ニ達シ
 歸リテ後、其地ヲ喜望峯ト名ヅク、其後、數年ナラ
 ズシテ、喜望峯ヲ廻リ、東印度ニ航海スル針路ヲ
 發明ス、是皆亞米利加ノ檢出前ニ在リ、是ヨリ、印
 度及ビ印度海ノ諸島ヨリ、漢土ヘ交易ヲ開ク、是
 明ノ世ナリ、次デ日本ヘ來ル、是天文年中ナリ、蓋

シ、是ヨリ以前ハ、印度地方ノ產物、皆駱駝ヲ以テ、
遠ク陸路ヲ運搬シ、辛クシテ貿易セシニ、今海路
ヨリ自在ニ往來運送スルヲ得テ、葡萄牙リム、水
ノ港ハ忽チ歐羅巴第一ノ都會ト爲リ、頗ル繁
華ヲ極ムルニ至レリ、

西班牙王ヘルナンドハ、唯一女アリテ、奧地利
ノ公族ヒリゾフニ嫁シ、太子チャールスヲ生メリ、
五百十六年、後相原帝亦西班牙王歿スルニ及ビ、
他ニ血統無ケレバ、之ヲ迎ヘテ、位ヲ継ガシム、
ルル、一世ト稱ス、又三年ヲ歷テ、奧地利ノ位ヲ

繼グテ、帝位ニ昇リ、獨逸ニ於テ、
稱ス、故ニ兩國合併シテ、一國ト爲リ、且、利蘭比耳
時、及ヒ佛蘭西ノ東方ヨリ、以太利ノ過半ヲ合セ
テ、廣大ノ封土ヲ管轄シ、又南北亞米利加ノ諸地
ヲ攻取リ、海外ノ屬地モ、更ニ多ク、古來未曾有ノ
大國ト稱セリ、然ルニ、教法改革ノ爭亂起リ、獨逸
國內穩カナラス、且、佛王フランシス、專ラチャール
ス帝ト競ヒテ、積年戰爭絶エザリシガ、終ニ、歐羅
巴全洲已ノ意ノ如クナラザルヲ見テ、千五百五
十六年、忽チ自ラ位ヲ退キ、断然世ヲ棄テ、山寺ニ

通レ、終身經ヲ讀ミ、器物ヲ玩弄シテ終レリ、
チャールズ、帝位ヲ退クニ當リ、西班牙和蘭比耳時
及ビ海外ノ領地ヲ合セテ其子ホリッポ二世ニ讓
リ、奧地利ノ位ハ其弟ヘルチナンド一讓レリ、
リッポ二世ハ殘忍頑固ノ人ニシテ、舊教ヲ尊奉シ、
新教一歸スル者ヲ嚴罰ニ處シ、人ヲ殺スト具數
ヲ知ラズ、和蘭ノ如キ終ニ兵ヲ舉ゲテ獨立國ト
爲レリ、又葡萄牙王ヘメリハ、ホリッポノ伯父ナリ
シガ、太子無クシテ歿ス、千五百八十年、ホリッポ二
世其庶子衆シテ、葡萄牙ヲ平ゲ、合併シテ一國ト

爲ス然ルニ、和蘭ノ勢次第ニ盛ルニ至リ、西班牙
葡萄牙兩國ノ屬地ハ、亞細亞亞米利加ニ在ル者
ヲ奪取リシカバ、此國ノ貿易大ニ衰微シ、國內騷
擾シテ甚ダ平穩ナラズ、更ニ又英國和蘭等ト戰
争ヲ起シ、大ニ敗北シテ其威勢益衰フ、千六百四
十年、明正天皇寛永十一年至リ、葡萄牙國モ亦兵ヲ舉ゲ
テ獨立シ、ブラガンサ侯ジョアンヲ立テ王トス、然レ
モ東印度諸島ノ領地ハ、大畧既ニ和蘭ニ奪ハレ
シニ因リ、國勢更ニ振ハザルニ至レリ、
西班牙王チャールズ二世、千六百六十八年、リッポ屬

佛國ト兵ヲ交ヘ、國力大ニ疲弊ス、其歿スルニ父
 日太子無ク、王家ノ系統絶ニタリ、然ルニ、曠地利
 ノチャールス、及ビ佛蘭西ノルイ十四世ノ孫ヒリ
 プハ、共ニ其分系ナルヲ以テ、王位ヲ爭ヒ、互ニ戰
 端ヲ發シ、英吉利、和蘭、葡萄牙ノ諸國、皆曠地利ニ
 カヲ合セ、佛國ヲ攻メ、加フルニ、國內又徒黨相分
 裂シ、千七百三十四年ヨリ、十三年間ノ大乱ト爲レリ、是
 ヲ西班牙國王位相續ノ乱ト云フ、後ヒリッポ終ニ
 位ニ即キ、和睦ヲ行フト、雖、多年ノ争乱ニ由テ、
 國勢益衰運ニ赴ケリ、

佛英兩國軍之戰圖



爾來、葡萄牙ハ、英國ト連合スル
 ニ因リ、佛國ナポレオン帝ノ盛
 ナルニ及ビ、其侵ハヲ受ケ、之ニ
 敵スルヲ能ハス、千八百七年、葡
 萄牙王、國ヲ棄テ、其南亞米利加
 洲ニアル領地ブラジルニ遁ル、

次デ西班牙國モ、亦國王チャールス四世ト、太子ノ
 間ニ、内乱起リ、佛兵、此機ニ乘ジテ侵ハシ之ニ敵
 スルヲ能ハズ、是ニ於テナポレオン、遂ニ西班牙
 王ヲ廢シ、自ラ其兄ジョーゼフ、ナポレオンヲ封シ

テ國王トス、然レモ、國人之ニ服セズ、兵ヲ舉ゲ、
之ニ抗シ、屢戰爭アリ、然ルニ、英國ノ大將エルリ
ングトン、兵ヲ出シテ、西班牙ヲ援ケシカバ、全國
之ガ爲メニ、氣力ヲ得テ、益佛兵ト激戦シ、次第ニ
之ヲ國境外ニ逐卻ク、ナボレオンノ魯國ニ敗軍
スルニ及ビ、直チニ英國ノ兵ト共ニ、佛國ノ都ニ
攻入リ、次デ、璦地利ノ都中ニシテ、會議ニテ、葡
萄牙ヲ舊ニ復シ、西班牙ハヘルナンドビ世ヲ
立テ王トス

初メ、葡萄牙王ハ、都ヲ亞米利加ニ遷スト雖、
内ニ因テ、其地ニ止マルヲ得ズ、十八百二十
二年終ニ、太子ペドロヲ留メテ本國ニ歸レリ、然ル
ニ、ペドロ、自立シテ、ブラジル國ノ皇帝ト稱ス、葡
萄牙國王、歿スルニ及ビ、衆議ニ因テ、ペドロノ女
マリーヲ立テ、女王ト爲セシニ、其伯父ミグエル
之ヲ廢シ、自立シテ王ト爲ル是ニ於テ、ブラジル
帝ペドロ、位ヲ其幼弟ノ太子ニ禪リ、自ヲ兵ニ將
トシテ、葡萄牙ニ攻入リ、其弟ミグエルト戦ヒ、之
ヲ逐卻ク、終ニマリーノ位ヲ復ス、然レモ、國內徒
黨相讎ヒテ、平穩ナラズ、女王歿スルニ及ビ、太子

ヘドリ五世、継テ立ち、又今代ノ王ルイ一世ニ傳
ヘタリ、

西班牙國ハ、ヘルデナンドビ世、千八百三十四年
ニ歿シ、其幼女イサベラ、位ヲ継ギシガ、此國、女王
位ニ居ルノ舊例ナキヲ以テ、前王ノ弟チャールス
之ヲ憤リ、黨ヲ結ンデ、大ニ騷擾ヲ起セリ、數年ノ
後、政府ノ兵漸ク之ヲ鎮定ス、ト雖モ千八百六十
八年明治ヨリ、又烈シキ内亂起リ、女王佛國ニ遁
ル爾來、國體ノ收メテ合衆國ト爲ヒシガ、更ニ王
國ニ復ヒント欲シ、千八百七十年、普魯士ノ王族

ヲ迎ヘ立アントスルヨリ、終ニ普魯士佛蘭西ノ
大戰爭ト爲リテ、其事止メリ、然レモ翌年終ニ以
太利王ノ次子ヲ迎ヘテ、國王トス、之ヲアメデオ
一世ト稱シ、即チ今代ノ國王ナリ

以太利

此國ハ、歐羅巴ノ南部ニアリ、元來羅馬帝國ノ本
部ニシテ、其亡ブルノ後、或ハ東羅馬ノ版圖ニ歸
シ、或ハ佛國シヤールマン帝ノ領地ト爲リ、許多ノ
沿革ヲ歷タリシガ、隨テ内亂常ニ正マズ、獨逸帝
オットー一世之ヲ平ゲ、紀元九百五十一年、天曆四年

以太利王ノ位ヲ兼統ス、當時此國ノ北部ハ獨逸
帝ニ屬シ、中部ハ羅馬法王ノ領ニ歸シ、南部ハシ
、リ國トス、後十字軍ノ起レル頃ヨリ、シラ
、ニアフロレンス、ベニス等處々ノ都會繁盛
ニ赴キ、合衆府ト稱シテ獨立シ、獨逸帝ニ抗敵シ
終ニ侯國ト爲ル者アリシヨリ、國內數多ノ邦國
ニ區分セリ、

此國古來ヨリ戰乱ノ首場ニシテ、多年獨逸帝ト、
羅馬法王ト、相競ヒテ、爭優久シク止マズ、又奧國
ト佛國ノ戰爭ニ因テ、國內常ニ干戈ヲ動カシ、各

州カハ、興亡ナリ、後佛國人驅動ノ時、ホレオン
ノ爲メ、政界ヒナリ、全國人抵其管轄ニ歸シ、唯
、トスノミ、而奧國ニ屬セリ、奧都ホーンナノ
大會際ニ因テ、各國ノ境界ヲ定ムルハ、及び國內
ノ侯伯、又各舊土ニ復ス、此時、當六國中ニベニ
、ス、リルガニ、ハ、ハ、バルチーネ、ノ、ル、等ノ
王國、及び羅馬法王ノ領土アリ、又バル、モ、ア、大
トスカニ、等ノ侯國アリ、其中ベニス國ハ、陸
ヨリ奧國ノ所轄ニシテ、其他ノ王侯セ、亦奧國ノ
親屬ニ係ル者アリ、其威力ニ依頼スル者、少カ

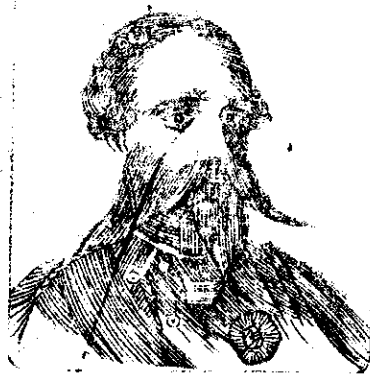
ラズ、又、サルチニア國ハ、此時小國ノリト雖也、後
來全國ヲ一統シ、方今以太利國ト稱スルノ基キ水
タリ、

紀元千八百二十年以來、ローモン、ネーポルス
羅馬等ノ都府ニ、内亂屢起リ、爭擾止マサルヲ以
テ、各邦塙國ノ援兵ヲ乞ヒ、漸ク之ヲ鎮壓スト雖
モ、其勢全ク平定ニ至ラズ、蓋シ、國內各邦ノ政令、
皆威權ヲ以テ、庶民ヲ抑制セシヨリ、人心怨ヲ含
ムト深ク、殊ニジョービノ、リッジニナル者ヲ巨魁ト
シテ、民政ヲ主張スルノ黨國內ニ蔓延シ、千八百

二十年以來、又處々ニ徒黨起リ、政府ニ抗敵ス、
是ニ於テ、塙國ノ老人將ヲバツキ、兵ヲ率中テロ
ムバルダーノ都ミランニ屯セシガ、民政黨ノ勢
甚盛ニシテ、之ヲ鎮定スル能ハズ、終ニ兵ヲ用
ム至レリ、此時、サルチニア王チャールス、ノルベル
トハ、獨リ他邦ノ君主ト異ニシテ、威權ヲ私セズ、
專ニ民政ヲ主張シ、兵ヲ起シテ、塙國ト戦ヒ、ビッ
ナバルマ等ノ數邦ヲ平ゲ、ロムバルダーニ侵入
セシガ、塙國ノ大將ヲバツキノ爲メニ、人ニ敗ラ
レ、モデナパルマ等ヲ舊ニ復シテ、漸和議ヲ講ヒ

リ、然レバ、ジョービフマッシニ、及ビガルバルシ等民政
 黨ノ兵ヲ指揮シテ、法王ヲ逐黜ク、羅馬府、據ル、
 各地、復々鼎沸シテ、埃國ノ兵ニ抵抗シ、更ニサル
 アニア王ニ通りテ、援兵ヲ假ラシテ、之ヲ攻メ、
 チヤールス、アルベルト、再ヒ兵ヲ起シテ、埃國ト戦
 ヒシガ、疲弊敵ヒマシテ、又大ニラデットノ爲メ
 ニ破ラレ、國力疲弊シテ、如何トビクルノ能ハズ
 竟ニ和ヲ埃國ニ乞ヒ、即ヒ王位ヲ太子ビシトル、
 エルマヌエル二世ニ譲リ、他國ニ退去ヒリ、後、埃

ニエママムルト



國佛國、西歐列國、相結シテ、國內ノ一際ヲ平クシ、
 八百四十一年、羅馬府ヲ陥シ、法王及ヒ各邦
 ノ君主ヲ捕メ、復ク、是ニ於テ、各邦、皆嚴ニ民政黨
 ヲ追捕シ、諸政府ノ威權ヲ振レリ、然ルニ、サルナ
 ニ、國ハ、獨リ國民ノ不羈自由ヲ得トシ、政令法
 度ヲ改革シテ、專ラ仁惠ヲ
 施セルカ故ニ、全國ノ人民
 皆後來ノ望ミ、サルチニ
 王ニ歸セリ、
 爾後、サルチニア王ハ、國力

ヲ養ヒ、兵馬ヲ精練シ、潛ニ佛帝ナホレゴン三世
ト約シテ、俄國ヲ挫ガントスルノ機會ヲ待チシ
カ、千八百五十九年、安政終ニ、俄國トノ和親破レ、
彼ヨリ戰端ヲ開クニ至リ、佛帝、自ラ大軍ヲ師
テ、急ニ以太利ニハリ、サルガニアヲ助ケテ、俄軍ト
マゲンヌ、リルヘリノ等ニ於テ、大戦ヲ終ニ之ヲ
破リ、ロムバルヂーヲサルチニアニ附シ、和議ヲ
講ズ、同時ニ、トスカニ、ビデナハレヤ等、諸邦ノ
國民蜂起シ、君主ヲ逐ヒ、サルチニアニ属ヒン
ト欲ス、此亂、次第ニ全國ニ弥漫シ、民心皆風ヲ

望シ、デリルヂーニ歸向シ、以太利北部ノ半ハ
皆其叛圖ニ歸ヒリ、翌年、以太利ノ南部ニ一揆起
ルニ兼ジ、彼民政黨ノ巨魁ナルカルバルヂー大
將トシ、兵ヲ出シ、シリ島ニ上陸ヒシメ、ト
リパルスニ連發ヒシム、ネーブルス王、兵ヲ出シ
テ、之ヲ拒ムト雖モ、敵スルニ能ハス、カルバルヂ
ノ軍、數月ヲラズシテ、盡ク以太利ノ南部ヲ平シ、
是ニ於テ、羅馬法王ノ領地、及ビベニスヲ除ク
ノ外、全國盡クサルチニアノ疆土ニ歸シ、乃チビ
クトルエムマヌエハ全國ノ代議士ヲ、ナポリニ

府ニ會シ、國法ヲ定メ、終ニ以太利王ノ位ニ昇レ
リ、
其後、千八百六十六年、埃國ト普國ノ間ニ、戰爭起
ルニ及ビ、此國ニ亦埃國ト戰ヒ、ベニスノ地ヲ
奪ヘリ、又羅馬法王ノ領地ハ、久シク佛國ヨリ兵
ヲ屯シテ國民ノ騷擾ヲ鎮撫ヒシカ、千八百七十
年、明治年普佛兩國ノ戰爭ニ因テ、其屯兵ヲ引上ゲ
シヨリ、以太利ノ兵忽チ羅馬ニハリ、法王ヲ逐ヒ
テ之ヲ廢トリ、是ニ於テ、全國盡ク一政府ノ管治
ニ歸ヒリ、

羅馬法王ハ、元來、基督教ニ於テ至貴至尊ナル高
僧ニシテ、今ノ天主教ヲ總管ヒシ者ナリ、初メハ
絶テ土地ヲ領ヒザリシガ佛國ノヘピン王、及ビ
シャールマン帝等、專ラ法王ヲ尊信シ、土地ヲ附與
シテ、紀元七百五十年、孝德帝ノ頃、法王ステヘン
三世、始メテ政事ノ權ヲ有シ、爾來、全ク獨立セル
一國ト爲リ、次デグレゴリー七世ノ如キ、最權カ
アリ、且全洲教派ノ本宗タルヲ以テ、一時列國ノ
王侯ヲ服従セシメ、之一統スル者ハ、獨シテ教中
ニ齒セザラシムルニ至ル、紀元千五百年ノ頃ハ、

此國最モ著名ナル年代ニシテ、法王ジエリクス
二世ノ如キ、非常ノオカラ以テ、更ニ其威名ヲ轟
カセリ、後、獨逸ニルゼルト名ヅクル高僧出テ、新
教ノ一派ヲ創ス、是、今謂フ所ク耶蘇教ナリ、是ヨ
リ、各國之ニ歸依スル者多ク、法王ノ威權、漸クニ
衰フ、降テナボレオン一世ノ時、國土全ク佛國ニ
歸スト雖、凡、奧都ノ會議ニ於テ、用ビ舊ニ復シ、次
テ、千八百四十八年、内亂ニ因テ、法王ヲ逐ヒ、合衆
國ナリシガ、佛國、奧國ノ兵之ヲ平ケ、又法王ヲ
舊ニ復ス、其後、千八百七十一年、明治四年法王黜ケラ
レ、其地、諸國以テ、利政府ニ歸ヒリ、

土兒其

土兒其ハ歐羅巴ノ東南ニアリ、其國人古ヘ、
内地ノ人民ニシテ、回教法王ニ屬セシガ、其疆土
分裂スル頃、波斯アルメニア等ノ一部ヲ蠶食シ、
紀元千年代、漸ク國ヲ建テ、千三百年代ノ初メ、
トマン王ニ至リ、次第ニ東羅馬ノ版圖ヲ蠶食シ、
大畧小亞細亞ヲ平定シテ、始メテシルヴァニア
ノ位ニ昇ル、之ヲ土兒其シルヴァニアノ始祖トス、故
ニ又國號ヲオットマニ國ト稱ス、其後、國勢次第ニ

盛ニシテ、版圖ヲ廣メ、千三百六十年、後村上天皇、早正、平中ノ

頃、アマラツト一世、歐羅巴ニ侵ハシ、アドリア

ホルニ都ス、次デバジビト一世、英邁豪毅ニシテ

大畧東羅馬ノ領地ヲ攻取リ、又ホングリ一國ニ

侵ハヌホングリ一王佛國及ビ獨逸諸國ノ兵ト

連合シテ、之ヲ防禦スト、雖モ其勢頗ル歐羅巴ヲ

震懼セシム、然ルニ其頃帖水兒ノ兵、雙龍ヨリ起

リ、大畧亞細亞洲ノ西部ヲ平定シ、遂ニ土兒其ト

兵ヲ交フルニ至ル、バジビト一世、自ラ大軍ヲ將

中テ、帖水兒ト、小亞細亞ノアンガラニ會戦ス、時

ニ千四百二年ノリ、兩軍ノ劇戦ニシ、ハモン、遂ニ

帖水兒ノ爲メニ橋ヒラレテ死ス、是ニ於テ國

内大ニ動搖セリ、

バジビトノ子、メホムト一世、位ニ即ギ、國勢ヲ挽

回シ、メホムト二世、千四百五十三年、終ニ、フランス

メホムトノボルヲ陷レ、東羅馬ノ帝國ヲ亡ボシ、爾

來、國部ヲ此ニ定メ、次デ更ニ強盛ニ赴キ、四隣ヲ

攻畧シ、ヒリム一世、又エジプトヲ平定シ、其領地

歐羅巴、亞細亞、亞非利加ノ三洲ニ跨レリ、殊ニソ

リマン二世ハ、最モ有名ナルシルダンニシテ、千



五百二十年、後相原帝
年位ニ即キ、口デハ島
ヲ亡ボシ、ホシガリ
國ヲ攻畧シテ、屬國ト
爲シ、次デ獨逸ノ内地
ニ侵ハシ、奧地利ノ都
市ニナヲ攻開ムニ

至ル、又東ハ亞細亞ノ各國ヲ蠶食シ、田教法王ノ
都ヲ攻メ、之ヲ陥シ、イレ、南ハ亞非利加ノ北部
ヲ平定シ、且國內ノ政令ヲ改革シ、法度ヲ

建メ、人ニ英名ヲ轟レリ、是ヲ上皇其國勢ノ最ニ
盛ナル時トス、

千五百二十年、ソリマン二世歿シ、ヒリム二世繼
テ位ニ昇リ、更ニ又各國ト戦争シ、數代ノ間、魯國
境等ト、屬兵ヲ交ヘ、東方ニ於テハ、又波斯國ト
互ニ境界ヲ争ヘリ、爾後、世々相繼テ、國勢漸シ衰
ヘ、屬魯西亞ト戦争ニ及ビシガ、常ニ大敗シ、遂ニ
地ヲ割キ、和ヲ講ス、蓋シ、此頃魯國ノ勢、曰ニ強盛
ナリシニ之ト境ヲ接スルガ故ニ、屢争端ヲ起キ
戦争ニ及ブト雖、民之ニ抵抗スル能ハズ、殊ニ千

八百二十九年ノ戦争ノ如キ、大敗シテ、魯軍ヲ下
リ、アノシボルニ侵ハシ、和睦スルニ及ン、カ史ニ
封土ヲ縮小セリ、又當時國內ノ形勢ハ内乱頻ニ
起リ、國力疲弊シ、希臘ノ人民、兵ヲ舉テ叛キ、終
ニ獨立スルニ至レリ、次デ八百五十三年、更ニ魯
國ト不和ヲ生ジ、此國復大敗ニ至ラニトス、然ル
ルハ、魯國益強大ニ赴キ、遂ニ歐羅巴ヲ睥睨セ
ントスルノ勢ナルヲ以テ、英佛兩國、七兎其ヲ
助ケテ、魯國ノセバストボルヲ攻撃シ、二年餘ノ
大戦争アリテ、終ニ和睦ヲ定ムルニ及ベリ、千八
百六十一年、ノドハノジス位ニ即ク是ヲ今代
ノシュルタントス

魯西亞國

魯西亞ハ歐羅巴ノ東北ニアリテ、方今此類ナキ
大國ナレバ、其盛大ノ勢ヲ爲ヒシハ、二百餘年來
ノ一ニテ、夫ヨリ以前ハ、國內分裂シ、或ハ久シク
蒙古ニ服シ、未タ開化ニ赴カズ、蓋シ其初メ歐羅
巴洲民大移轉ノ頃、スヲホニシノ野民、此地方ニ
移住シテ、漸ク繁衍シ、互ニ戦鬪シテ止マズ、其中
ノ一ゴロト及ビキートノ兩部最も繁榮セリ、紀

元八百六十二年清和帝貞觀中頃リリリリ者ノ
ゴロトヲ領シ、近隣ヲ平定ス、即チ魯國創業ノ
主ナリ、後邦七分裂シ、諸侯割據セシガ、紀元九百
九十年ノ頃ウラジミルノ世ニ至リ、領地次第ニ
廣マリ、又東羅馬帝ノ妹ヲ娶リ、希臘教ヲ用キ、國
内ニ令シテ之ヲ崇奉ヒシム、其後二百餘年ヲ歷
テ、亞細亞洲蒙古ノ兵ノ侵掠ヲ被ケリ、屢漢土元
代ノ將帥國內ニ攻ハリ、大小ノ諸侯、或ハ亡ビ、或
ハ之ニ服從シ、貢ヲ納レテ、全ク其屬國トナルト、
ハ二百餘年間、イワンワシリキ公ニ至リ、兵ヲ

起シテ、蒙古ト戰ヒ、紀元千五百年代ノ初ニ漸ク
國內ヲ平定ス、然レル、東南ノ地方ハ尚蒙古ニ屬
シ、魯西亞ノ領地未タ甚々大ナラズ、且學問風俗
等、未タ開ケズシテ、久シク歐洲各國ト交通セナ
リシガ、千五百五十年ノ頃、イワン二世、獨逸、英吉
利、和蘭等ヨリ、學者、製造家ヲ招キ、國內ノ製造諸
術ヲ進メ、次第ニ貿易ヲ開ケリ、次デ、ペートル帝
ニ至リ、國勢一変シテ、忽チ歐羅巴中至大ノ強國
トナレリ、

初メ、ペートル帝、モスコイ府ニ在リテ、和蘭人ニ

ハ ト ル 帝

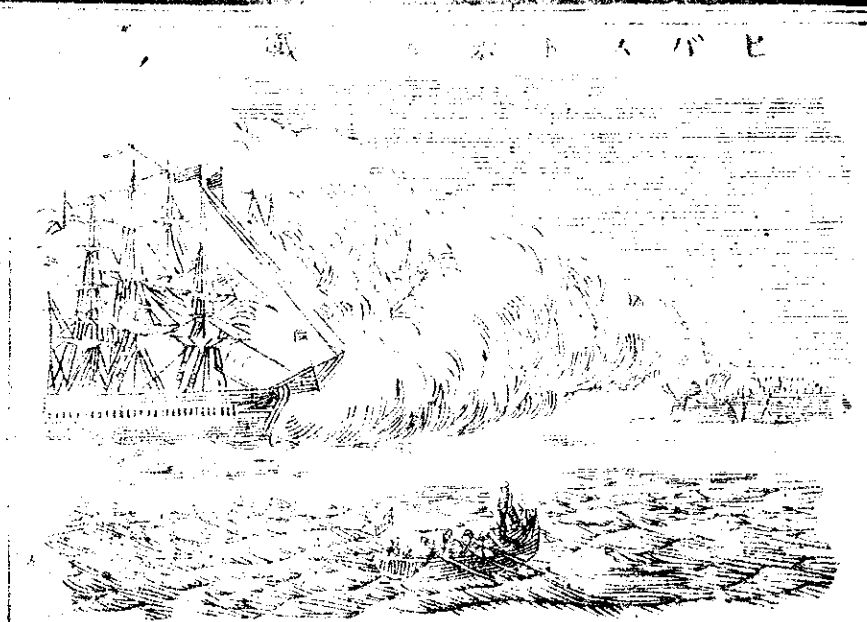


數學ヲ學ビ、且歐羅巴各
國ノ形勢、及ヒ學術ヲ傳
聞シテ、人々奮發ノ心ヲ
興シ、自ラ之ヲ經歷シ、國
勢ヲ更張センヤ欲シ、
千六百九十年元標ノ頃、

國內ノ貴族ヲ伴ヒ、各國ヲ遍歴シ、和蘭ノブル
ダムニ於テ、親シク造船ノ術ヲ學ビ、又地理
政治等、諸學ノ要旨ノ受ケ、丹ヒ獨逸、英吉利等ノ
巡歴シ、及ヒ學問ノ發達シタル者ヲ伴ヒ、歸國ノ

後、制度ヲ改メ、學術ヲ闡キ、新々ニ都ヲ建テ、之
トトルスブルグト名ツテ、製造貿易ノ業ヲ勵マ
シ、急ニ海陸軍ヲ盛大ニシ、富強ノ基ヲ固クセリ
故ニ國人其盛業ヲ賀シテ、大帝ト尊稱ス、又瑞典
王チールス十二世ト、隙ヲ起シ、連年戰爭ニ及ビ、
終ニ之ヲ破レリ、千七百二十七年、ペートル帝歿
スルノ後、次第ニ、歐羅巴各國ト戰端ヲ開キ、殊ニ
屢ニ其ト戰フ、女帝カタリ十二世ノ時シメリ
アノ地ヲ檢出シ、大ニ亞細亞ノ北部地方ニ領土
ヲ擴メ、東カハシツカニ至ル、又大舉シテ、土兒其ヲ

攻メ、千七百六十二年ヨリ、三十餘年間數度ノ戰
 争アリアレキサングル帝ノ世ニ、佛國ナポレオ
 ン、大軍ヲ帥テ、舊都モスコ二攻ハリシガ數
 回大戦ノ後、自ラ其都府ヲ焼拂ヒ佛國ノ大軍
 シテ、饑寒ニ逼ラシメ、其退カントスルニ及ヒ四
 方ヨリ之ヲ追撃シテ、大ニナポレオンヲ破リ、
 次デ、ニコラス帝ノ世ニ、又土兒其ト戦争ニ及ビ
 大ニ其領地ヲ奪ヒ、千八百二十九年和議ヲ定メ、
 又ボローランドヲ滅ボシ普魯士國地利ト其ニ其
 地ヲ分領ス其後ニコラス帝ノ末年、又土兒其ト



不和ヲ生ク此時、英佛ノ
 兩國土兒其ヲ助ケ、千八
 百五十二年ヨリ、殆ト三
 年間ノ大戦争アリ、殊ニ
 セバストホルノ砲臺ニ
 於テ、攻守ノ大戦、最モ烈
 シク、近代有名ノ戦争ト
 ス、千八百五十五年ニコ
 ラス帝歿シ、太子アレキ
 サングル二世位ニ即キ、

終ニ和議ニ及ベリ、即チ今代ノ國帝ナリ

亞米利加洲

發見殖民

紀元十四百年代、足利氏歐羅巴洲ノ各國、次第ニ
航海貿易ノ業ヲ開クニ當リ、西班牙、葡萄牙ノ兩
國、首トシテ、遠洋ノ航海ヲ務メ、殊ニ、葡萄牙ハ亞
非利加洲ヲ廻リテ、東洋ノ海路ヲ搜索セリ、此頃、
以太利國ノジノアルハニ、コルムブスナル者ア
リ、孩童ヨリ航海ノ術ニ精シク、積年、地中海ヨリ、
亞非利加ノ海岸ヲ往來ヒシガ、終ニ、種々ノ經驗

ニ因リ、大西洋ヲ越エテ、高西方ニ進行スルハ、
必ズ人間未發ノ世界ヲラント考ヘ、之ヲ實地ニ
驗セント欲ヒシニ、自力ニ及ビ難ク、諸國ノ王公
ニ說キ勸メシニ、皆空說ナリトシテ、用ヒテレス

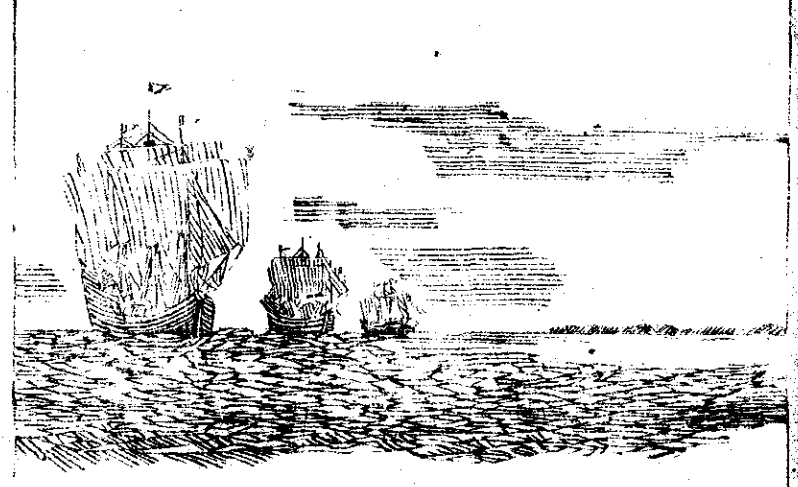


コロンブス

次第ニ貧困ニ迫リ、終ニ西
班牙ニ流寓シ、國王ヘルナ
ナンドニ謁シテ、西方ノ新
世界ヲ檢出ヒンコヲ說キ
シガ、王妃イサベルヲ、其
說ヲ採用セラレ、數艘ノ大

船及七路費等ヲ賜ハリ、時ニ紀元千四百九十二
 年、後土御門天皇、前古未檢ノ大洋ヲ西ニ向
 シ、數月ノ間、海上ノ辛苦ヲ經テ、終ニ今ノ西印度
 中ノバハマキ諸島ヲ檢出シ、隨テ之ニ殖民シテ、
 西班牙國ノ屬地ト爲ヒリ、歐羅巴ノ各國、新世界
 ノ檢出ヲ聞クニ及ンテ、葡萄牙、英、佛、和蘭、以太利
 等ヲ初トシテ、各國ヨリ巨艦ヲ送り、次第ニ亞
 米利加ノ大陸ヲ檢出シ、互ニ之ヲ分領シテ、人民
 ヲ移シ、土地ヲ拓キ、種々ノ產物ヲ得ルニ至リ、漸
 ク繁盛ニ赴ケリ、千六百年代ノ初メニ於テ、北亞

亞米利加ノ發見



米利加ハ、北部分カノ地
 ヲ、佛國ノ領トシ、中央ハ英
 國ニ歸シ、之ニ接シテ、和蘭
 瑞典ノ屬地アリ、夫ヨリ南
 ハ、メキシコヲ包有シテ、南
 亞米利加洲ニ跨リ、盡ク西
 班牙ノ領地トス然ルニ、千
 六百六十七年、和蘭ノ領地
 皆英國ニ歸シ、千七百五十

四年、英佛及ハ西班牙國ノ間ニ不和ヲ生ジ、連年

此國ニ於テ戦争ス、後、和議ヲ請シ、佛國ノ領地ヲ
ナダ、及ビ西班牙ノ領地フロリダ、其ニ悉ク英國
屬地ト爲レリ、

合衆國

紀元千七百五十六年、實^中ノ頃、北亞米利加東岸
ノ地、盡ク英國ニ歸ビシヨリ、土地已ニ盛大ニシ
テ、貿易モ亦繁盛ニ赴クト雖モ、動モスレハ、水國
政府ヨリシテ、人民ヲ束縛シ、政令宜シキヲ得ス、
殊ニ牧^{スウビーホ}牧^{スウビーホ}法ノ公平ヲサルヨリ、國內^{スウビーホ}紛^{スウビーホ}訟^{スウビーホ}スル
者多シ、然ルニ、英國政府、更ニ威權ヲ扶^サテ、苛酷ノ

處置アリシカバ、千七百七十四年、各州ヨリ代議
士ヲ選ミ、ヒラデルヒア府ニ會議シ、政令ヲ改定
セシメ、英國政府ニ願訴ス、因テ英國ヨリ兵隊
ヲ送り、更ニ又威力ヲ以テ、之ヲ壓伏セシメント
スルニ及ビ、國內ノ人心、益動搖シ、遂ニ兵ヲ舉ゲ
テ、英國政府ノ兵ニ抗スルニ至レリ、

千七百七十五年、後^桃國^天皇^レキシン^グトニ
於テ、初メテ戰端ヲ開キ、是ヲ獨立戦争ノ始トシ、
ニヨールク、ピルチニア、マリランダ、南北、カロ
リナ等ヲ首トシ、天十三州ノ人民、同盟シテ兵ヲ

舉ゲ、ワシントンヲ以テ總督トシ、英國ノ兵ト戰
 争ス、又シ、フルンソフランクリン、アダムス等ノ
 史、微綴文ヲ作り、其英國ニ叛キテ、獨立スル所以
 ノ理ヲ論ジ、之ヲ諸州ニ布告シ、益防禦ノ備ヲ堅
 クセリ、爾後數年間、英國ヨリ此動乱ニ平定セン
 ト、海陸ノ大軍ヲ送り、攻撃甚々急ナリト雖、總
 督ワシントン、毎ニ寡兵ヲ以テ、大敵ニ當リ、少シ
 クモ屈搦セズ、屢苦戰シテ、互ニ勝敗アリ、其間、フ
 ランクリンハ、佛國ニ遊說シテ、其援兵ヲ乞ヒ、次
 デ、海陸兵和蘭兵共ニ英國ニ抵抗ス、是ヨリ、ワシ

ントンノ兵勢益盛ニシテ、數度ノ戰爭ノ後、千七
 百八十一年、ヨークタウンニ於テ、佛兵ト共ニ英
 國ノ大將、コルンエリスノ大軍ヲ破レリ、
 是ニ於テ、英國ニ征討ノ力盡キテ、和議ヲ講シ、千
 七百八十三年、天明終ニ英、米、兩國ノ和睦ヲ結ビ



此國全ク獨立シテ、是ヲ亞
 米利加合衆國ト稱ス、次デ
 ヒラデルヒアニ於テ、大會
 議ヲ爲シ、合衆共和ノ政體
 ヲ定メ、四年ノ任限ヲ以テ、

大統領ヲ公選シ、政府ノ主宰ヲシメ、即チ以シ
ントシテ以テ、大統領ニ任セリ、然ルニ、積年ノ戰
乱ニ因テ、國債ノ數夥シク、國內疲弊シア、之ヲ如
何トモスベカラズ、然レモワシントン、善ク政法
ヲ治メ、賦稅ヲ平ニシ、漸クニ治安ニ至ラシム、ワ
シントン、在職ノ期滿ツルト雖モ、公選ニ因テ、再
任シテ、大統領ノ職ヲ務ム、

千七百九十七年、ジョン・アダムス、代テ職ヲ繼ギシ
タ、久シカラズシテ、佛國トノ和議破レントシ、復
ワシントンヲ舉ゲテ、大將ニ任セリ、然レモ、戰爭

ハ至ラズシテ止ム、其後、ジョン・ハドソン、大統領タル

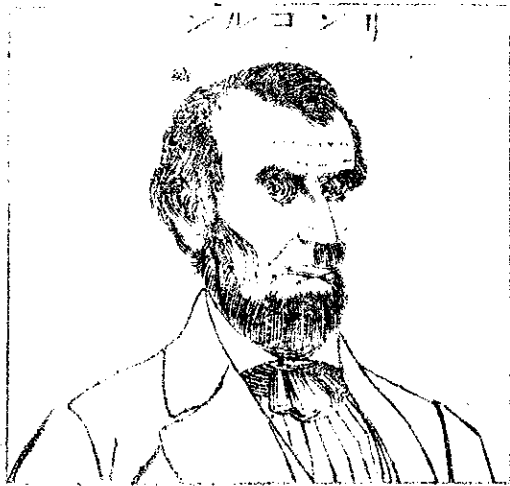
時、佛國ノ屬地ルイシアナ州ヲ購ヒ、合衆國ニ入
ル、當時、貿易益盛大ニシテ、英國ト競ヒシガ、千八
百十二年、マヂソン、大統領タル時、終ニ英國ト戰
争ニ及ベリ、後英領カナダノ地、内亂起リシ時、英
國ト、再ビ不和ヲ生スト、雖モ、戰爭ニ至ラズシテ
止ム、又大統領ホルクノ時、千八百四十六年、仁
義、南部ノ隣國メキシコト、戰爭起リシガ、大ニ
之ヲ破リ、カリホルニア等ノ諸州ヲ以テ、合衆國
ニ入ル、此國、獨立以來、次第ニ、近傍ノ諸州、併屬

加ハリ其版圖頗ル廣大ニシテ、大西洋ヨリ太平洋ノ海岸ニ達セリ、其後數代ヲ歷テ、大統領ビルスノ時、千八百五十三年、嘉永六年ベルリヲ使トシテ、我日本へ軍艦ヲ送り來リ、始メテ兩國ノ和親ヲ結ベリ、

大統領アカタシノ時、奴隸ノ論ヨリシテ、國師從黨分レ、動搖少カラズ、蓋シ、奴隸ノ論トハ、此國從昔ヨリ、土地ヲ開拓スルガ爲メ、亞非利加洲ヨリ、黑人ヲ買來リ、山野田園一カ作セシメ、奴隸トシテ、多年之ヲ販賣スルノ風俗アリ、然ルニ、人類

ノ販賣スルハ、人道ノ正理ニ悖ルヲ云フ、此論解ノ一洗シ、黑人ト雖モ、皆不羈自由ヲ得セシメントスルノ論アリシガ、南部ノ諸州ニ於テハ、其タ之ノ便ナリトセス、此爭論既ニ數十年前ヨリ起リ、近年益徒黨ヲ結ンデ、爭論相競ヒ、殆下動亂ニ至ラントス、千八百六十年、明治元年リンコルン大統領ノ選舉ニ定メルニ及ビ、其奴隸ヲ廢スルノ主論者ナリンヨリ、南部ノ諸州忽チ沸騰シ、同年ノ冬、南カロリナ州、先導シテ、兵ヲ舉ゲ、續テフロリダ、アラバマ、ミシシッピ等ノ諸州之ニ如ハリ、翌

春ニ至リ、北カリナ、ビルヂニア等、又連合シテ、南部十三州、同盟ヲ爲シ、ジヤコブソン、ダビースヲ以テ大統領トシ、リチャモンドニ政府ヲ定メ、獨立國タラント欲ス、是ニ於テ、南北全ク分裂シ、チャール



ストンノ港ニ於テ、南部ヨリサムトルノ城堡ヲ攻撃スルヲ以テ、戦端トシ、五年ノ間、海陸ニ大戦争アリ、千八百六十四年ノ頃ニ於テハ、南部ハリッチャ以テ、大將トシ、總軍ニ

十五萬、屢戦シテ、北部ノ都ワシントン迄一進リシニアリ、又、北部ハ、グラントノ大將トシ、總軍一百餘萬、次第ニ南部ニ攻ハリ、翌年四月終リ、リッチモンドヲ陥シイレ、次テ大將リッチャノ降伏セシメ、大統領ダビース等ヲ擒ト爲シ、是ニ於テ、戦亂全ク平ギ、人望益リンコルニ歸シ、同年任限満ツルト雖ハ、再ビ之ヲ推選ス、然ルニ、演戲場ニ於テ、刺客ノ爲メニ、遂ニ暗殺セラレタリ、ジョンソン、大統領トナリ、千八百六十七年、北亞米利加ノ西北部ニ在ル魯國ノ屬地ヲ七百萬弗ヲ

以テ購ヒ得テ、英國疆ヲ増セリ、蓋シ近年此國ノ
形勢益富強ニシテ、貿易繁盛ヲ極メ、更ニ太平洋
ニ蒸氣船、脚船ヲ置テ、我日水及ヒ清國等ト期日
ヲ定メテ、相往來シ、且新タニ綿亘タル鐵道ヲ掘
造シ、國內ヲ貫キ、直チニ太平洋ノ海岸ヨリ、太西
洋ノ海岸ニ達ス、實ニ東洋貿易ノ至權ヲ掌握ス
ト謂ツベシ、又彼南北戦争ノ時、總軍ノ大將タリ
シグラント、千八百六十九年、大統領ニ任センヨ
リ、今尚再任シテ、職ニ居リ